

まちだ未来づくりビジョン2040 町田市 5 カ年計画 22-26 2023年度の取り組み結果

— 本編 —



2024年8月
町田市

目 次

1	まちだ未来づくりビジョン2040と町田市5ヵ年計画22-26	3
	(1) まちだ未来づくりビジョン2040とは	3
	(2) 町田市5ヵ年計画22-26とは	6
2	まちづくり基本目標の取り組み結果	8
	(1) 施策の到達状況	8
	(2) 重点事業プランの取り組み結果	11
	＜目標の達成状況と主な成果＞	
	政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる	17
	政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる	20
	政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる	29
	政策4 いくつになっても自分の楽しみが持てるまちになる	33
	政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる	37
	政策6 つながり力を力にするまちになる	40
	政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる	43
	政策8 思わず出歩きたくまちになる	47
	政策9 みんなが安心できる強いまちになる	53
3	経営基本方針の取り組み結果	59
	(1) 経営基本方針の到達状況	59
	(2) 経営改革プランの取り組み結果	60
	(3) 経営改革プランの効果額一覧	64
	＜目標の達成状況と主な成果＞	
	基本方針1 共創で新たな価値を創造する	66
	基本方針2 対話を通して市役所能力を高める	69
	基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する	72
4	「財政見通し」と決算見込額との比較分析	
	(1) 計画額と決算見込額との比較	76
	(2) 2023年度（令和5年度）の財政指標	77

1 まちだ未来づくりビジョン2040と町田市5ヵ年計画22-26

まちだ未来づくりビジョン2040は、町田市の市政運営の基本となる計画です。

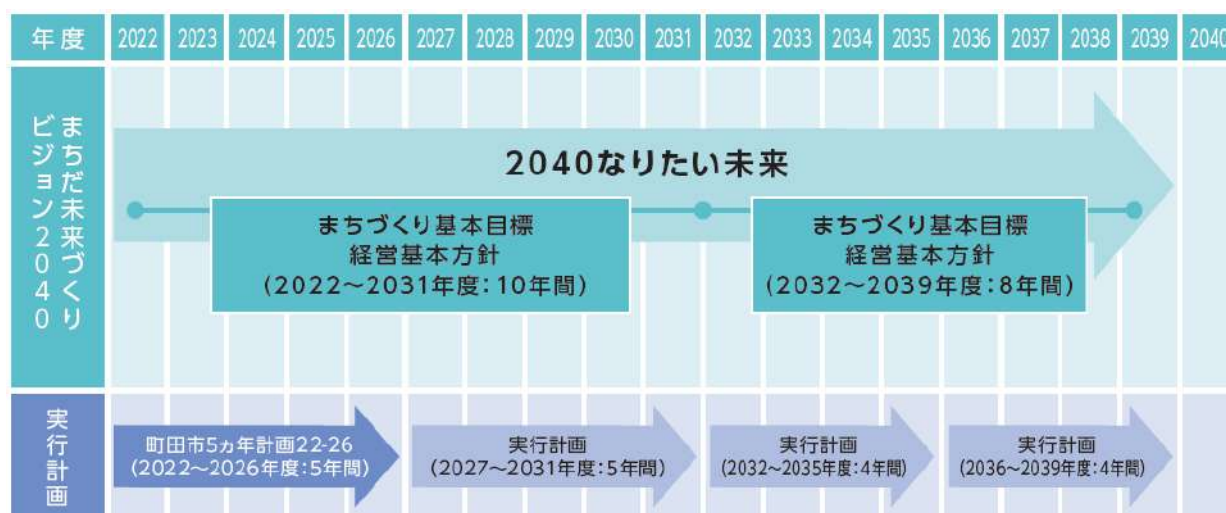
基本構想部分の「2040年になりたい未来」が2039年度までの18年間、基本計画部分の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」が2031年度までの10年間を計画期間としています。

そして、これらの実行計画となる町田市5ヵ年計画22-26は、2022年度から2026年度までの5年間としています。

■計画の構成



■計画の期間



(1) まちだ未来づくりビジョン2040とは

○基本構想部分

「2040年になりたい未来」では、まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を3つの“年になりたいまちの姿”（都市像）、1つの“行政経営の姿”（経営像）として掲げています。また、それらからイメージされる未来の町田市を一言で表すキャッチコピーとして「なんだ かんだ まちだ」と定めています。

➤「なんだ かんだ まちだ」とは

「なんだかんだ言っても町田が一番。」と誰もが感じることのできるまち、みんなに愛される、ほかにはないユニークなまちのイメージをキャッチコピーで表現しています。

■「2040 年 なるたい未来」の構成



➤ 3つの「なるたいまちの姿」の成り立ち

なるたいまちの姿は、タウンミーティング等、市民の皆さんとの意見交換会で多くいただいた「子ども」、「暮らし」、「つながり」に関することをキーワードに、ワークショップ等を通して多くの方の想いを集めることで作られました。

- ◆「子 ど も」：ここでの成長がカタチになるまち
- ◆「暮 ら し」：わたしの“ココチよさ”がかなうまち
- ◆「つながり」：誰もがホッとできるまち

町田市では、2040 年に向けて“なるたいまちの姿”（都市像）と“行政経営の姿”（経営像）を実現し、多くの皆さんに「なんだかんだ言っても、やっぱり町田が一番」と思ってもらえるようなまちづくりを進めています。

○基本計画部分

「2040 になりたい未来」で掲げた、“なりたいまちの姿”と“行政経営の姿”を実現させるため、まちづくりの方向性と行政経営の方向性に沿って、何を目標にどのようにまちづくりを進めるかを体系的に示す、市政運営の基本となる 10 年間の計画です。

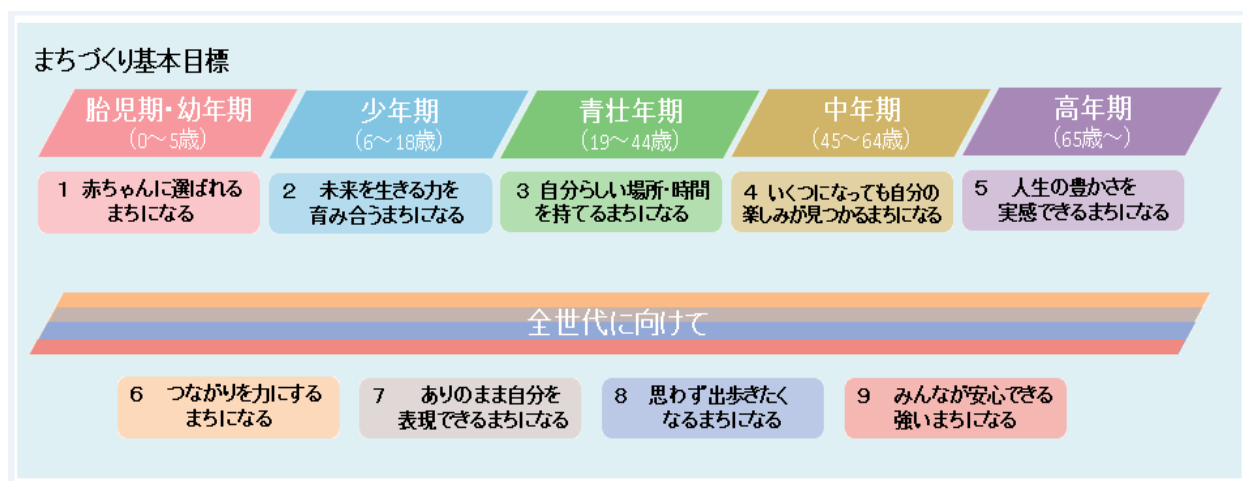
<まちづくり基本目標の構成>

3つの“なりたいまちの姿”の実現に向けて、9つの政策を軸に施策を体系的に示しています。

- 政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる
- 政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる
- 政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる
- 政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる
- 政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる
- 政策6 つながり力を加えるまちになる
- 政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる
- 政策8 思わず出歩きたくなるまちになる
- 政策9 みんなが安心できる強いまちになる

➤まちづくり基本目標の特長

それぞれ生き方の違う人が、人生のどの段階においても当てはまるよう、ライフステージごとに政策を定め、「自分ゴト」として捉えられるようにしているのが特長です。



<経営基本方針の構成>

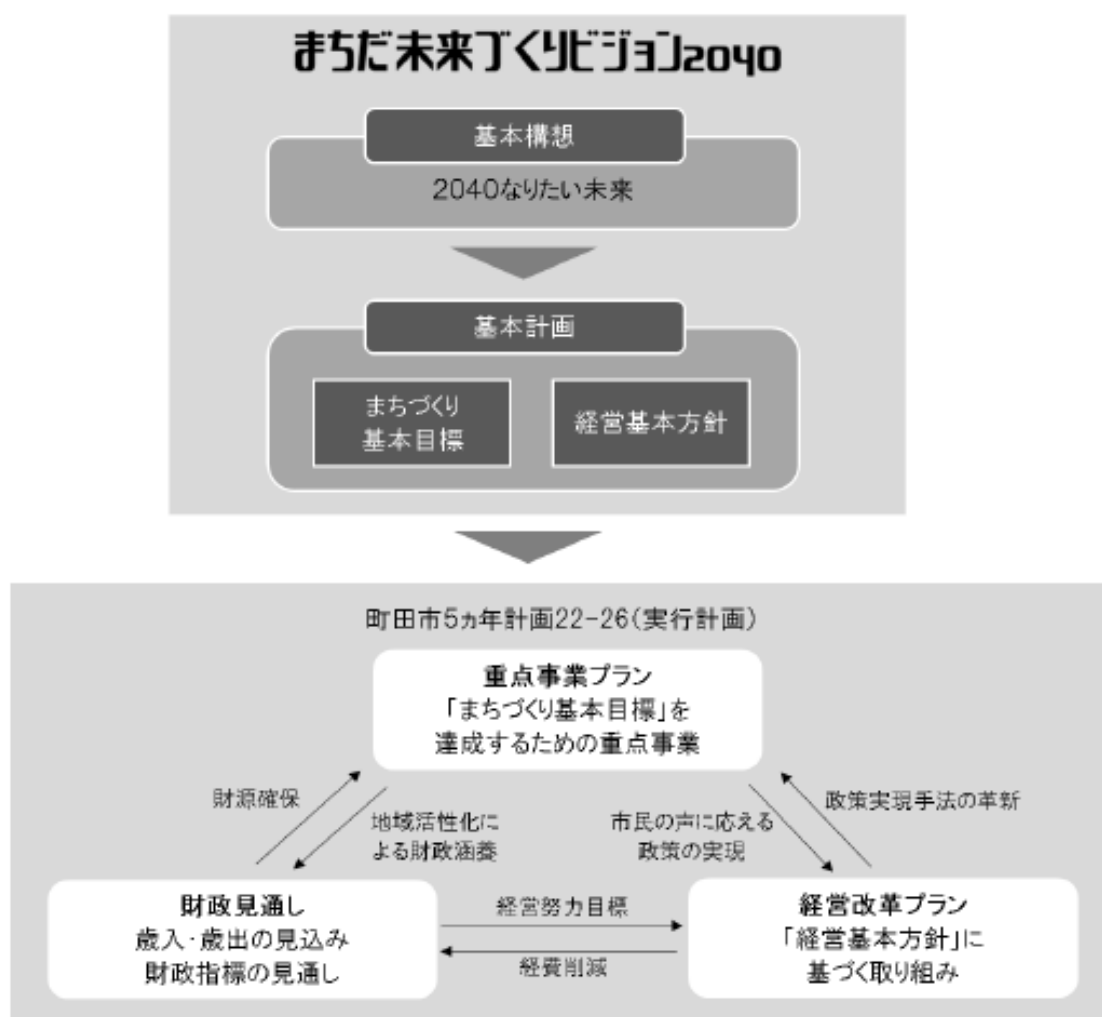
“行政経営の姿”を実現するための方針を体系的に示し、まちづくり基本目標の実現を支えます。

- 基本方針1 共創で新たな価値を創造する
- 基本方針2 対話を通して市役所能力を高める
- 基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

(2) 町田市5ヵ年計画22-26とは

まちだ未来づくりビジョン2040の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」の達成に向け、財政見通しに基づいて、どのようにまちづくりを行い、何に重点的に取り組んでいくのかを「重点事業（重点事業プラン）」と「改革の取り組み（経営改革プラン）」として定め、総合的かつ計画的に進めていくため、実行計画として町田市5ヵ年計画22-26を策定しています。

「重点事業」は、まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる政策や施策（まちづくり基本目標）に、「改革の取り組み」は、基本方針や改革項目（経営基本方針）にそれぞれ紐づき、ビジョン実現のための具体的な活動としています。



➡次頁からは、まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」ごとに、それぞれに紐づく施策と改革項目、町田市5ヵ年計画22-26の「重点事業プラン」と「経営改革プラン」の、2023年度の取り組み状況と設定した指標の評価を記載しています。

まちづくり基本目標

2 まちづくり基本目標の取り組み結果

まちだ未来づくりビジョン2040のまちづくり基本目標に掲げる9つの政策を受け、その実現に向けて体系づけた「施策」と重点的に取り組む「重点事業」について、それぞれ設定した指標の状況や取り組み結果をまとめました。

(1) 施策の到達状況

各施策に設定した指標の目標値に対する2023年度の状況を示しています。

なお、目標値は、2022年度から2031年度までの10年間をかけて達成することを目指した数値です。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2023年度)
政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる				
施策	1-1:魅力ある子育て環境をつくる			
	0歳から14歳の転入超過割合(10年平均)	54.7%	60.0%	41.5%
	1-2:多様な子育てサービスを提供する			
	認可保育所等待機児童数	76人	0人	28人 ^{※1}
政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる				
施策	2-1:子どもが自分らしく育つ場を提供する			
	子どもの居場所が確保されていると思う市民の割合	40.3%	50.0%	33.0%
	意見表明を始めとする子どもの市政への参画がされていると思う市民の割合	8.4%	20.0%	15.6%
	2-2:学ぶ意欲を育てる			
	※2 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている割合	小6 78.6% 中3 77.5%	小6 85.0% 中3 85.0%	小6 81.7% 中3 80.5%
	全国体力・運動能力、運動習慣等調査「体力合計点」 (全国平均を100とした場合)	<小5> 男子 100 女子 99	<小5> 男子 104 女子 103	<小5> 男子 100 女子 98
		<中2> 男子 95 女子 96	<中2> 男子 100 女子 100	<中2> 男子 98 女子 99
	※3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につながるができている割合	小6 76.0% 中3 73.9%	小6 80.0% 中3 80.0%	小6 76.2% 中3 66.2%
	2-3:教育環境を充実させる			
	小学校・中学校の教育環境が整っていると思う市民の割合	33.3%	60.0%	44.8%
	学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	小6 85.8% 中3 78.4%	小6 90.0% 中3 83.0%	小6 85.3% 中3 83.0%
	2-4:地域の教育力を高める			
	学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合	—	小 100% 中 100%	小 87.3% 中 76.2%

※1 認可保育所等待機児童数の2023年度実績値は、2023年度の取り組み結果が2024年4月公表の数値に反映されることから、年度をずらして記載しています。

※2 ※3 ビジョン策定時、※2については「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の割合」、※3については「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を目標指標として設定していましたが、引用元となる全国学力・学習状況調査の調査項目から削除されたため、代替指標を立てています。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2023年度)
政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる				
施策	3-1:ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる			
	付加価値額	5,416億円	6,000億円	— ※4
	3-2:町田ならではの地域資源をいかす			
	町田市に対して愛着や親しみを感じている市民の割合	87.5%	93.5%	84.8%
	観光入込客数	574万人	650万人	611万人 ※5
政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる				
施策	4-1:生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する			
	生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合	30.8%	50.0%	25.9%
	4-2:スポーツへの参加機会を充実させる			
	スポーツ実施率	62.6%	70.0%	63.9%
	「する」「みる」「支える」に関わった市民の割合	92.8%	95.0%	92.6%
政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる				
施策	5-1:高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる			
	高齢者の地域活動参加率	前期高齢者 71.0% 後期高齢者 58.8%	前期高齢者 79.0% 後期高齢者 66.8%	— ※6
	高齢者の主観的健康感	84.7%	89.0%	— ※6
	5-2:高齢者を地域で支える体制をつくる			
	在宅療養について希望するし実現可能だと思う高齢者の割合	28.3%	33.0%	— ※6
	必要とする職員数を確保できていると考えている 介護保険事業所の割合	48.0%	60.0%	— ※6
政策6 つながりを力にするまちになる				
施策	6-1:つながり、支え合える基盤をつくる			
	地域とのつながりに満足している市民の割合	48.2%	60.0%	59.4%
	地域につながり、支え合いがあると思う市民の割合	32.0%	45.0%	32.1%
	6-2:みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる			
	市内の温室効果ガス排出量	1,284千 t-co2	998千 t-co2	— ※7
	一人一日あたりのごみ排出量	775g	714g	717g

※4 経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されており、2023年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

※5 「観光入込客数」は公表が毎年10月頃のため、前年（2022年）実績を記載しています。

※6 「健康とくらしの調査」及び「高齢者の福祉や介護に関する調査」によって3年に1回調査されており、2023年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

※7 「市内の温室効果ガス排出量」の2023年度の数値は、本取り組み結果公表時点で未公表のため、「—（ハイフン）」としています。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2023年度)
政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる				
施策	7-1:一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる			
	性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合	81.8%	85.0%	92.8%
	7-2:文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる			
	市内で文化芸術活動に触れる機会を持つことができた市民の割合	13.0%	30.0%	15.6%
	文化施設利用率の平均値	61.6%	70.0%	62.6%
政策8 思わず出歩きたくなるまちになる				
施策	8-1:気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
	市内で滞在した時間(1日平均)	220分	240分	— ※8
	市内で活動した人数(1日平均)	37万人	40万人	— ※9
	8-2:ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
	自分が住む地域での生活に満足している市民の割合	77.0%	90.0%	82.8%
	8-3:健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
	みどりの環境に満足している市民の割合	79.8%	90.0%	86.0%
政策9 みんなが安心できる強いまちになる				
施策	9-1:ひと・まちを災害に強くする			
	自主防災活動実施率	91.6%	100%	93.7%
	災害などの非常時に対して備えている市民の割合	87.7%	100%	89.4%
	9-2:地域の安全を守る			
	治安が良いと感じる市民の割合	76.5%	80.0%	81.5%
	市内の交通事故(人身事故)件数【年単位集計】	855件	693件	930件
	9-3:市民の健康を守る			
	自殺死亡率(人口10万人あたり)	15.3	12.2以下	15.4
	健康診断を受診している市民の割合	76.5%	80.0%以上	82.2%

※8 ※9「市内に滞在した時間」「市内で活動した人数」は、概ね10年に1回パーソントリップ調査によって調査されており、2023年度は調査未実施のため「— (ハイフン)」としています。

※上記一覧表の「市民の割合(〇〇している市民の割合)」の指標については、「2023年度町田市市民意識調査」の無回答数を除いた有効回答数を100%として算出しているため、「2023年度町田市市民意識調査報告書」の数値結果と異なる場合があります。

（２）重点事業プランの取り組み結果

各重点事業で設定する、それぞれの指標の 2023 年度目標値に対する実績値（取り組み結果）を示しています。

<「取り組み結果」の考え方>

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の２段階で達成度を表示。

○…目標値を上回った場合（目標値に対して 100% 以上の実績値を達成した場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の 100% 未満の実績値の場合）

* 「取り組み結果」の割合は、目標値に対する実績値の割合です。なお、100% を超える場合にも 100% を上限としています。

2023 年度の目標達成率・・・88%

* 「2023 年度の目標達成率」は、全重点事業の達成率の平均から算出しています。

* 2023 年度時点で事業未実施及び、事業実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「－（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。

* 整備工事完了等の定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「取り組み結果」の割合を 50% としています。

政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる

施策1-1 魅力ある子育て環境をつくる						
重点事業		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	地域における子育て支援の充実	94%	産後ケア利用申請数	○（100%）	418件	993件
			地域子育て相談センターの相談件数	△（83%）	18,000件	14,895件
			マイ保育園累計実施園	○（100%）	72園	73園
2	「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築	100%	配達食数	○（100%）	280食	300食
3	ひとり親家庭の支援	100%	高卒認定試験合格支援申請相談者数	○（100%）	10件	10件
			養育費確保支援申請者数	○（100%）	15件	51件

施策1-2 多様な保育サービスを提供する						
重点事業		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	送迎保育による多様な保育サービスの推進	100%	送迎保育ステーション利用定員数	○（100%）	8,000人	8,938人
			病児・病後児保育の充実	-	-	-
3	保育の質の向上推進	85%	保育サービス利用者・提供者の満足度	○（100%）	85%	100%
			保育士養成校等との連携回数	△（70%）	20回	14回
4	教育・保育施設の整備	100%	3歳児未満の保育サービスの提供率	○（100%）	46%	49%

政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる

施策2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する						
重点事業		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	子どもの参画の推進	100%	子どもが意見を発信する回数	○（100%）	5回	12回
2	子どもクラブの整備	100%	子どもクラブ累計施設数	○（100%）	7施設	7施設
3	学童保育クラブの整備	75%	学童保育クラブ整備累計施設数	○（75%）	4施設 (2施設/年)	3施設 (2施設/年)

政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる

施策2-2 学ぶ意欲を育てる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 えいごのまちだの推進	99%	中学2年生のGTECトータルスコア398点(3年生英検3級程度の能力相当)取得した生徒の割合	△(96%)	56%	53.6%
		英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる小学校5・6年生の割合	○(100%)	71%	72.0%
		英語で書いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる中学生の割合	○(100%)	56%	68.8%
2 ICT教育の充実	85%	授業の中でICTを活用することに不安があると感じている教員の割合	△(96%)	45%	45.6%
		学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている小学生(第5・6学年)の割合	△(86%)	82.7%	70.8%
		学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている中学生(第1学年)の割合	△(74%)	57.0%	42.2%
3 地域のスポーツ環境の充実	75%	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	△(91%)	60.6%	54.9%
		30～49歳のスポーツ実施率(女性)	△(89%)	66.4%	58.8%
		スポーツに関するボランティアを行った割合	△(46%)	8.0%	3.7%
4 キャリア教育の推進	97%	将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(小6)	○(100%)	78%	78%
		将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(中3)	△(93%)	68%	63.4%

施策2-3 教育環境を充実させる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 新たな学校づくりの推進	-	新たな学校づくり基本計画検討会累計設置数	-	-	-
		新たな学校づくり基本計画累計策定数	-	-	-
2 中学校給食センターの整備	100%	中学校全員給食の導入	○(100%)	センター整備工事	センター整備工事
3 小学校施設の整備	25%	建替え等の設計累計着手校(小学校)	△(25%)	4校	1校
4 中学校施設の整備	-	建替え等の設計累計着手校(中学校)	-	-	-
5 特別支援学級の充実	-	特別支援学級累計設置校数	-	-	-

施策2-4 地域の教育力を高める

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 学校と地域の協働	100%	地域学校協働活動項目件数	○(100%)	62件	82件

政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる

施策3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 起業・創業の魅力を発信	100%	創業機運醸成に関するセミナー等の実施回数	○(100%)	12回	12回
		起業家カードの発行数	○(100%)	220件	293件
2 事業者の新分野・新技術への進出支援	93%	産業財産権取得に対する補助件数	△(87%)	30件	26件
		新商品・新サービス開発に対する補助件数	○(100%)	6件	6件
3 事業者の次代を担う人材を育成	92%	就職面接会、採用相談会等の参加者数	○(100%)	250人	332人
		労働関連セミナー参加者数	△(84%)	450人	379人
4 円滑な事業承継の推進	100%	事業承継累計完了件数	○(100%)	21件	50件
		事業承継ネットワーク個別相談受付件数	○(100%)	330件	523件
5 働きやすいまちづくりの推進	44%	シェアオフィス等に対する中心市街地活性化奨励金交付件数	△(0%)	1件	0件
		町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数	△(87%)	810事業所	708事業所

施策3-2 町田ならではの地域資源をいかす

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 シティプロモーションの推進	98%	町田市に対して愛着や親しみを感じる市民の割合	△(96%)	88.7%	84.8%
		広告換算額	○(100%)	447百万円	1,780百万円
2 シティセールスの推進	100%	観光入込客数	○(100%)	585万人	611万人
3 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進	100%	四季彩の杜来園者数	○(100%)	119万人	134万人
4 香山緑地の整備	100%	香山緑地の整備	○(100%)	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事着手
5 身近に農のあるまちづくり	100%	子育て世帯のうち「まち☆ベジ」を購入したことがある人の割合	○(100%)	35.0%	55.0%
6 里山環境の活用と保全	100%	里山への来訪者数	○(100%)	29,000人	33,804人

政策4 いくつになっても自分の楽しみが持てるまちになる

施策4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 ワタシが主役の図書館づくりの推進	41%	市民協働運営の施設数 読書普及の取り組み紹介数	△ (0%) △ (82%)	1ヵ所 28件	0ヵ所 23件
2 新たな図書館様式の推進	100%	図書館サービスを利用していない市民の割合 予約資料受取場所累計施設数	- ○ (100%)	- 6施設 (1施設/年)	- 6施設 (1施設/年)
3 新たな学びの支援	100%	学習成果を今後、いかせると答えた人の割合	○ (100%)	72%	88%

施策4-2 スポーツへの参加機会を充実させる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域のスポーツ環境の充実(2-2③再掲)	75%	30～49歳のスポーツ実施率(男性) 30～49歳のスポーツ実施率(女性) スポーツに関するボランティアを行った割合	△ (91%) △ (89%) △ (46%)	60.6% 66.4% 8.0%	54.9% 58.8% 3.7%
2 野津田公園スポーツの森の整備	50%	テニスコートの整備 パークセンターゾーンの整備	- △ (50%)	- 基本設計完了	- 基本設計着手
3 スポーツをする場の環境整備	100%	「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」と答えた市民の割合	○ (100%)	49.1%	43.8%
4 忠生スポーツ公園の整備	100%	池の辺地区の整備 峠谷地区の整備	○ (100%) -	整備工事完了 -	整備工事完了 -
5 ホームタウンチーム等との連携の推進	100%	ホームタウンチームを知っている市民の割合	○ (100%)	72.7%	74.0%

政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる

施策5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域介護予防活動支援	100%	「町トレ」自主グループ累計数	○ (100%)	198団体	210団体

施策5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 認知症の人やその家族の居場所づくり	100%	まちづくりワークショップの累計参加者数	○ (100%)	60人	216人
2 介護人材の確保・育成・定着	100%	介護人材バンクによる就労人数	○ (100%)	45人	63人

政策6 つながりを力にするまちになる

施策6-1 つながり、支え合える基盤をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域活動団体支援	100%	支援を行ったことで活動の活性化につながった累計団体数 マッチング累計件数	○ (100%) ○ (100%)	135団体 34件	145団体 53件
2 ワタシが主役の図書館づくりの推進(4-1①再掲)	41%	市民協働運営の施設数 読書普及の取り組み紹介数	△ (0%) △ (82%)	1ヵ所 28件	0ヵ所 23件
3 町田市地域ホットプランの推進	75%	新たな相談支援体制の導入累計地区数	△ (75%)	4地区	3地区

施策6-2 みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地球温暖化対策の推進	38%	家庭用燃料電池設置累計補助件数 燃料電池自動車(FCV)導入累計補助件数	△ (76%) △ (0%)	350件 (200件/年) 10件	265件 (118件/年) 0件
2 資源循環型施設の整備	99%	町田市バイオエネルギーセンターの整備 相原地区資源ごみ処理施設の整備	△ (99%) -	99.1% -	98.6% -
3 プラスチックごみの減量の推進	38%	容器包装プラスチック排出削減量	△ (38%)	600t	229t

政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる

施策7-1 一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 性の多様性への理解の促進	100%	性の多様性に関する情報発信回数	○ (100%)	3回	10回
2 障がい者差別解消推進	100%	差別解消に関連した講座等の実施回数	○ (100%)	2回	2回
3 成年後見制度の利用支援	100%	市民後見人累計登録者数	○ (100%)	90人 (16人/年)	90人 (16人/年)

施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアムの整備	50%	(仮称)国際工芸美術館の整備	△ (50%)	整備工事実施	CM業務(工事計画・工事価格確認)完了
		公園の第2期整備	△ (50%)	実施設計	実施設計未実施

政策8 思わず歩きたくなるまちになる

施策8-1 気軽に出かけてつながれる環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 小さな交通・地域で支える交通環境の整備	100%	多様な主体が連携した交通の取り組みや新たな交通の実用化・実証実験等の累計件数	○ (100%)	12件	15件
		整備補助を受け設置されたホームドア累計総列数	○ (100%)	6列	6列
2 大きな・速い交通の整備	100%	多摩都市モノレール町田方面延伸実現に向けた検討	○ (100%)	検討	検討
3 自転車利用環境の整備	100%	自転車通行空間の累計整備延長	○ (100%)	4.3km	4.7km
4 都市計画道路の整備	99%	整備済延長(市施行分)	△ (99%)	60.11km	60.06km
5 準幹線道路の整備	99%	整備済延長	△ (99%)	85.11km	84.46km
6 鶴川駅周辺のまちづくりの推進	100%	北口広場の整備	○ (100%)	広場整備工事	広場仮使用開始
		南北自由通路の整備	○ (100%)	整備工事	整備工事
		南口の土地区画整理	○ (100%)	整備工事	整備工事
		南口のアクセス道路整備	○ (100%)	用地取得	整備工事
7 相原駅周辺のまちづくりの推進	100%	東口アクセス路整備(相原駅)	○ (100%)	用地取得	用地取得 整備工事
		東口駅前広場周辺街区整備(相原駅)	○ (100%)	整備手法 検討	整備手法 検討
		東口駅前広場整備(相原駅)	○ (100%)	測量・設計	測量・設計

施策8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 団地再生の推進	-	団地再生に向けた取り組みを行っている累計団地数	-	-	-
2 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○ (100%)	検討実施	検討実施
3 木曽山崎地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○ (100%)	検討実施	検討実施
4 町田駅周辺地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○ (100%)	検討実施	検討実施
5 中心市街地の賑わい空間の創出	81%	「町田駅周辺の中心市街地で2時間以上過ごす」市民の割合	△ (85%)	56.8%	48.2%
		「2週間に1回以上の頻度で町田駅を訪れる」市民の割合	△ (77%)	51.6%	39.6%

政策8 思わず出歩きたくなるまちになる

施策8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 芹ヶ谷公園”芸術の社”パークミュージアムの整備(7-2①再掲)	50%	(仮称)国際工芸美術館の整備	△(50%)	整備工事実施	CM業務(工事計画・工事価格確認)完了
		公園の第2期整備	△(50%)	実施設計	実施設計未実施
2 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進(3-2③再掲)	100%	四季彩の杜来園者数	○(100%)	119万人	134万人
3 野津田公園スポーツの森の整備(4-2②再掲)	50%	テニスコートの整備	-	-	-
		パークセンターゾーンの整備	△(50%)	基本設計完了	基本設計着手
4 香山緑地の整備(3-2④再掲)	100%	香山緑地の整備	○(100%)	建物耐震改修工事着手	建物耐震改修工事着手
5 (仮称)蓮田公園の整備	100%	蓮田緑地の整備	○(100%)	実施設計完了	実施設計完了
6 忠生スポーツ公園の整備(4-2④再掲)	100%	池の辺地区の整備	○(100%)	整備工事着手 プレオープン実施	整備工事着手 プレオープン実施
		峠谷地区の整備	-	-	-
7 (仮称)大戸広場の整備	50%	(仮称)大戸広場の整備	△(50%)	実施設計完了	用地取得・折衝
8 都市農地の保全活用の取組	100%	生産緑地の肥培改善通知文書の発送数	○(100%)	5通	2通
		市内の農業体験に参加した市民の割合	○(100%)	0.5%	0.9%

政策9 みんなが安心できる強いまちになる

施策9-1 ひと・まちを災害に強くする

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 自主防災リーダーの育成	99%	日頃から避難場所について確認している市民の割合	○(98%)	54%	53%
		「とりくむ」講座実施累計地区数	○(100%)	4地区	4地区
2 避難行動要支援者の避難支援体制整備	-	個別避難計画作成累計人数	-	-	-
3 地震対策(雨水管の耐震化)	-	耐震化率	-	-	-
4 地震対策(下水道処理施設の耐震化)	-	成瀬クリーンセンターの耐震化率	-	-	-
5 浸水対策の推進	71%	雨水管整備対象箇所の浸水対策累計数	○(71%)	7カ所 (2カ所/年)	5カ所 (2カ所/年)
6 無電柱化の推進	-	整備済延長(累計)	-	-	-
7 住宅の耐震化の促進	100%	木造住宅の耐震化率	○(100%)	87.2%	87.2%
8 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の促進	78%	要安全確認計画記載建築物の耐震化率	△(78%)	90.0%	70.4%

施策9-2 地域の安全を守る

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 協働パトロールの充実	100%	協働パトロール回数	○(100%)	48回	57回
2 交通安全ミーティングの推進	100%	交通安全ミーティング実施回数	○(100%)	6回	6回
3 踏切道の改良	75%	鶴川1号踏切の拡幅完了	△(50%)	工事完了	工事
		鶴川5号踏切の拡幅完了	○(100%)	設計着手	設計着手
4 道路安全設備の緊急更新	100%	町田市内幹線・準幹線道路の区画線補修工事	○(100%)	25%	25%
5 自転車利用環境の整備(8-1③再掲)	100%	自転車通行空間の累計整備延長	○(100%)	4.3km	4.7km

施策9-3 市民の健康を守る

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 心と体の健康の推進	50%	自殺死亡率(人口10万人あたり)	△(50%)	13.6	15.4

目標の達成状況と 主な成果

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高齢期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

1

赤ちゃんに選ばれる まちになる



2023年度の主な成果



1-1 重点事業① 地域における子育て支援の充実

出産後に助産師のケアを受けられる「日帰り型・宿泊型（医療機関・助産院での休息、授乳・育児指導）」や「訪問型（自宅での相談やアドバイス）」について、所得にかかわらず利用料の減免制度（初回から5回目まで）を導入し、経済的負担を軽減した結果、目標値418件を大きく上回る993件の申請につながりました。

1-1 重点事業② 「食」を通じた地域ネットワークの構築

地域ボランティアと連携し、支援を必要とするひとり親家庭向けに、定期的にお弁当配達を行う「おうちでごはん」事業を実施し、目標値280食を上回る300食を配達しました。お弁当の配達時において、訪問相談支援などの行政サービスを提供したほか、地域とつながりを持てるよう、地域の行事や子ども食堂について情報提供しました。



1-2 重点事業④ 教育・保育施設の整備

2024年4月に、新たに南地域に認可保育所を1園開設し、保育施設の拡充を行いました。また、地域の保育需要に対応するため、既存保育施設の定員の見直しを行った結果、保育サービス提供率※は目標値46%を上回る49%を達成できています。

※3歳児未満の保育所等の定員／0～2歳児人口

施策 1-1 魅力ある子育て環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

- 子育て世帯の誰もが必要な情報を把握し、支援が必要なときに支援を受け、相談が必要なときに相談を受けられる環境になっています。
- 子ども・子育て支援が切れ目なく行われている環境になっています。

なりたい姿の実現度を測る指標

0歳から14歳の転入超過割合
(10年平均)

コラム

現状値

54.7%
(2020年度)

2023年度

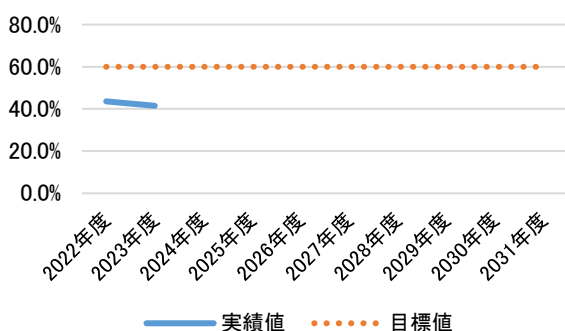
41.5%

目標値

60.0%
(2031年度)

指標の経過

0歳から14歳の転入超過割合
(10年平均)



施策を実現するための重点事業

- 地域における子育て支援の充実
- 「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築
- ひとり親家庭の支援

<参考>

■ 0～14歳の転入超過数(直近3ヵ年参考/10年合計・平均)

2021年	2022年	2023年	10年合計	10年平均
822人	948人	856人	6986人	698.6人

■ 転入超過数総数(直近3ヵ年参考/10年合計・平均)

2021年	2022年	2023年	10年合計	10年平均
3470人	2784人	2023人	16854人	1685.4人

コラム

『0歳～14歳の年少人口転入超過数
2年連続全国第1位』

昨年に続いて2023年も、町田市の年少人口の転入超過数(転入者数から転出者数を差し引いた数)が、政令指定都市を除いて第1位となりました。都会と自然のバランスがちょうどいいまちであることに加え、子どもセンター、子どもクラブをはじめとした、様々な子どもが遊び学べる環境の充実に取り組んできた結果が、2年連続第1位につながったと考えています。

今後も、「子どもにやさしいまち」を軸に、より多くの人には選ばれるまちづくりを推進していきます。

施策 1-2

多様な保育サービスを提供する

施策実現によってなりたい姿

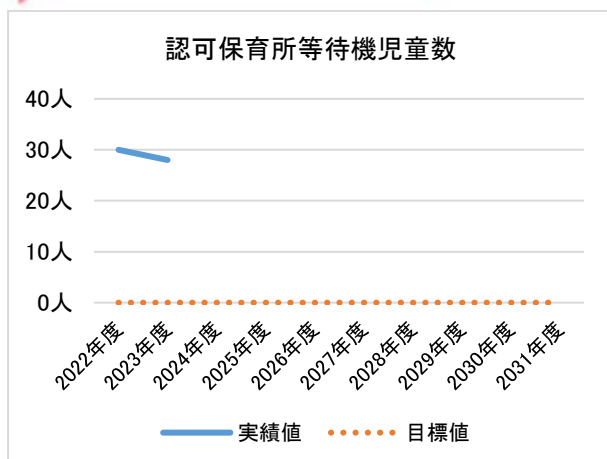
- 子育てと仕事の両立ができ、ワークライフバランス が保てることで、充実した子育てや仕事を実現しています。
- 保育を必要としているときに必要な保育サービスを利用できる環境を実現しています。

なりたい姿の実現度を測る指標



※認可保育所等待機児童数の2023年度実績値は、2023年度の取り組み結果が2024年4月公表の数値に反映されることから、年度をずらして記載しています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 送迎保育による多様な保育サービスの推進
- 病児・病後児保育の充実
- 保育の質の向上推進
- 教育・保育施設の整備

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

2

未来を生きる力を 育み合うまちになる



2023 年度の主な成果



2-1 重点事業① 子どもの参画の推進

若者の意見の聴取や反映に留まらず、若者が“やりたいこと”を自らの力で実現できるように事業PRや補助金の交付、仲間づくりなどを市が後押しする「まちだ若者大作戦」を2023年5月に開始しました。

2023年度は、町田薬師池公園四季彩の杜西園を会場に若者を集めて野外音楽フェスを行う「Music at 四季彩の杜西園“MUSICA”」や、広報まちだ（5月1日特集号）の一面と二面を若者が企画から取材、執筆まで行う「広報まちだジャック計画」、など7つの大作戦を通じて若者が自由な発想で、やりたいことを実現する機会を創出しました。



2-1 重点事業② 子どもクラブの整備

子どもの居場所の充実のため、2023年7月に小山田子どもクラブ「ゆめいく」が小山田地区にオープンしました。施設の愛称である「ゆめいく」は、“夢に向かって行く” “夢を MAKE（つくる）” “夢を育む（夢育）”などの意味があり、地域の子どもたち自身で考え、名付けました。



2-4 重点事業① 学校と地域の協働

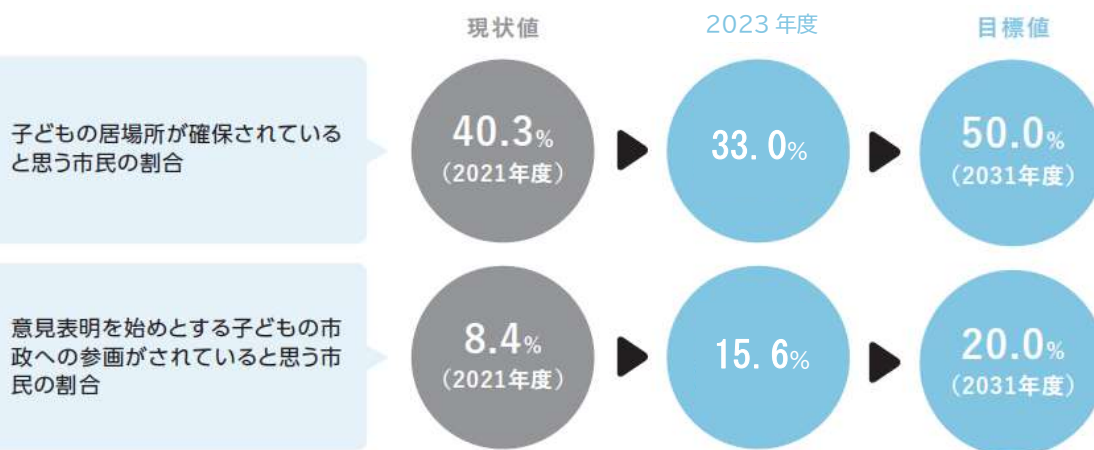
町田市立小中学校全62校の内10校に設置していた地域学校協働本部を、2023年度から全62校に設置しました。地域のまち探検や農業体験、放課後学習教室など、目標値62件を上回る82件の地域学校協働活動を実施しました。

施策 2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する

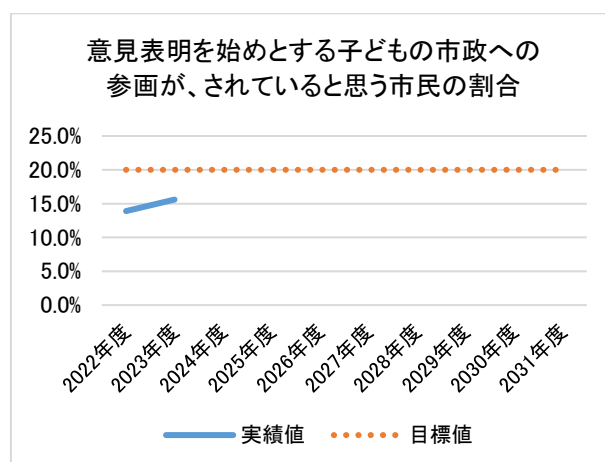
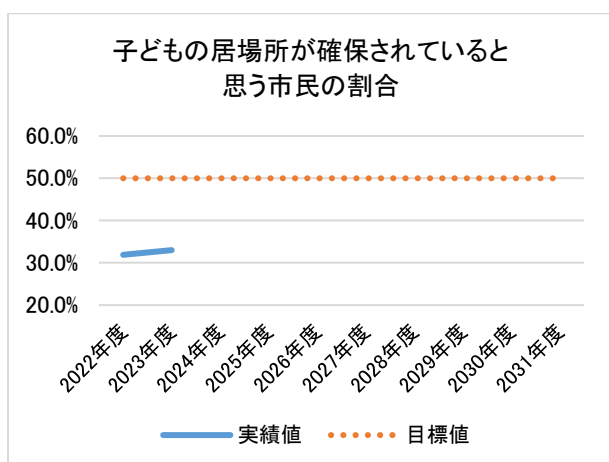
施策実現によってなりたい姿

- 行政のあらゆる活動に子どもが意見でき、大人と共にまちづくりに取り組んでいます。
- 家庭の事情に関係なく、子どもが「活動の場」「生活の場」「豊かに過ごせる場」を選択できるまちになっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 子どもの参画の推進
- 子どもクラブの整備
- 学童保育クラブの整備

コラム

コラム

まちだ 若者大作戦

【コンセプト】

「子どもにやさしいまちはだれにとってもやさしいまち」の実現に向け、子ども・若者自らの力で“やりたいこと”を成し遂げよう！

「町田市子どもにやさしいまち条例」機運醸成を目的に、若者が“やりたいこと”を自らの力で実現できるように事業 PR や補助金の交付、仲間づくりなどを市が後押しする「まちだ若者大作戦」を2023年5月に開始しました。

主に市がサポートしていること

- 企画実現のための仲間づくりや企画のPRのお手伝い
- 企画の内容（プラン）に応じた補助金の交付
- 道具や施設の貸し出し
- ① やりたいこと実現プラン（1件につき、上限10万円の補助）
- ② まちづくりプラン（事業課の賛同を得て、行政課題の解決に取り組む企画 1件につき、上限50万円の補助）

まちだ若者大作戦における若者の活躍

① まちだ若者大作戦ではプランの実行に向け、企画の審査をする「若者審査員」と企画のサポートをしていく「実行サポーター」という若者で実行委員会を立ち上げ、若者が自らの力で“やりたいこと”を成し遂げられる体制を整えています



企画の審査も若者による審査会で実施



若者による実行委員会が作成した「募集のチラシ」

② 2023年度は7つのプランが実現しました。

野外音楽フェス

「music at 四季彩の杜西園 (MUSICA)」



高校生や大学生の若者を集めて、若者の音楽をたくさんの人に届ける野外音楽フェスを「薬師池公園四季彩の杜西園」で開催しました。

「町田市子どもにやさしいまち条例」の趣旨に沿って、「機材の運搬」や「広報紙のデザイン」などの若者だけでは難しいことは地域の大人や民間事業者、大学など様々な大人が賛同、協力してくれました。

広報まちだジャック計画

広報まちだ（5月1日特集号）の一面と二面を若者が記事を作成しました。自分たちで企画から取材、執筆まで行いました。

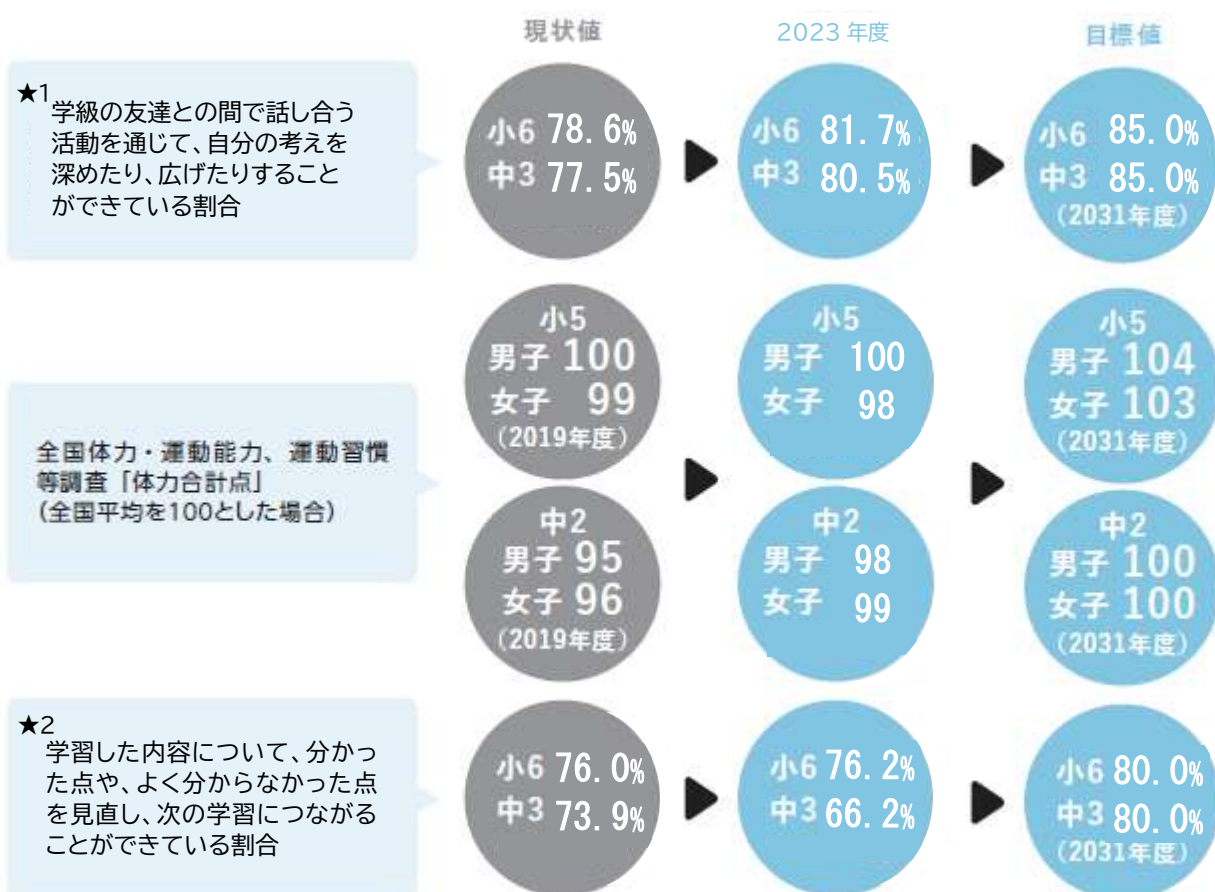


施策 2-2 学ぶ意欲を 育てる

施策実現によってなりたい姿

- 次代を担う子どもたちが、グローバル化やICTなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの社会において、夢や志を持ち、自ら考え、目標に向かってたくましく生きることができるようになっています。

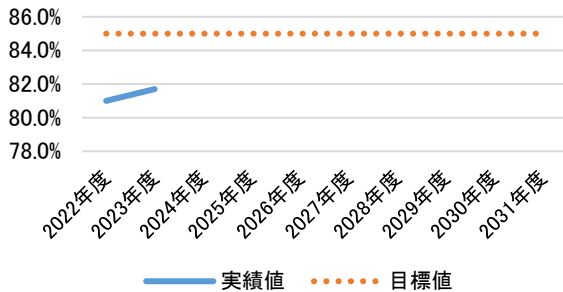
なりたい姿の実現度を測る指標



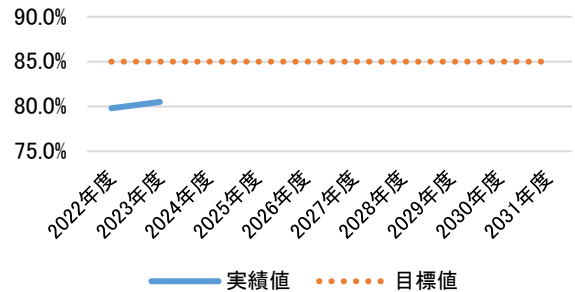
* ビジョン策定時、★1については「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の割合」、★2については「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を目標指標として設定していましたが、引用元となる全国学力・学習状況調査の調査項目から削除されたため、代替指標を立てています。

指標の経過

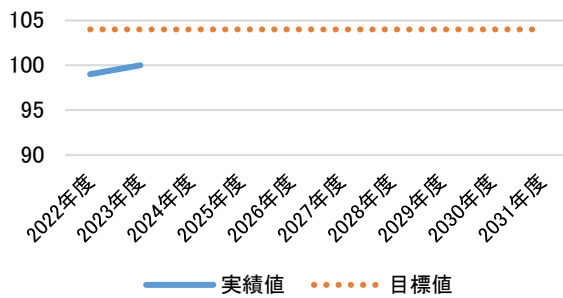
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合（小6）



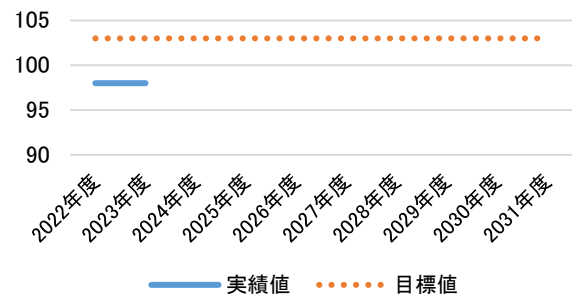
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合（中3）



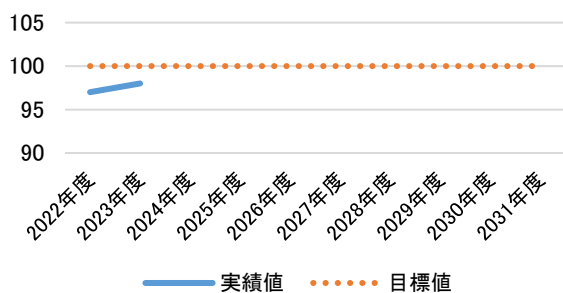
全国体力・運動能力、運動習慣等調査
小5男子「体力合計点」
（全国平均を100とした場合）



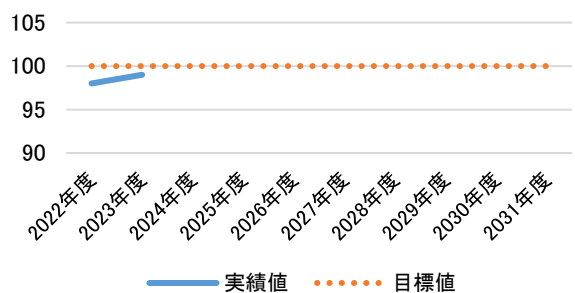
全国体力・運動能力、運動習慣等調査
小5女子「体力合計点」
（全国平均を100とした場合）



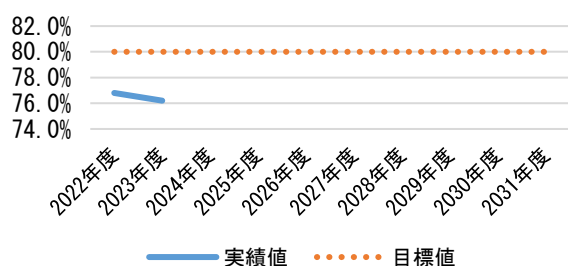
全国体力・運動能力、運動習慣等調査
中2男子「体力合計点」
（全国平均を100とした場合）



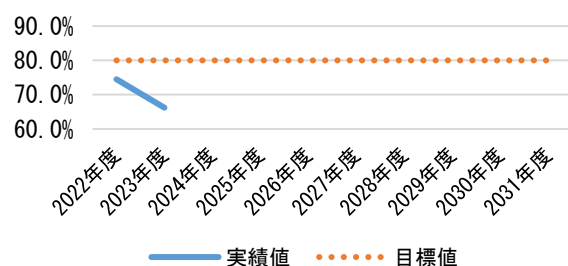
全国体力・運動能力、運動習慣等調査
中2女子「体力合計点」
（全国平均を100とした場合）



学習した内容について、分かった点
や、よく分からなかった点を見直し、
次の学習につなげることができる
割合（小6）



学習した内容について、分かった点
や、よく分からなかった点を見直し、
次の学習につなげることができる
割合（中3）



施策を実現するための重点事業

- えいごのまちだの推進
- ICT教育の充実
- 地域のスポーツ環境の充実
- キャリア教育の推進

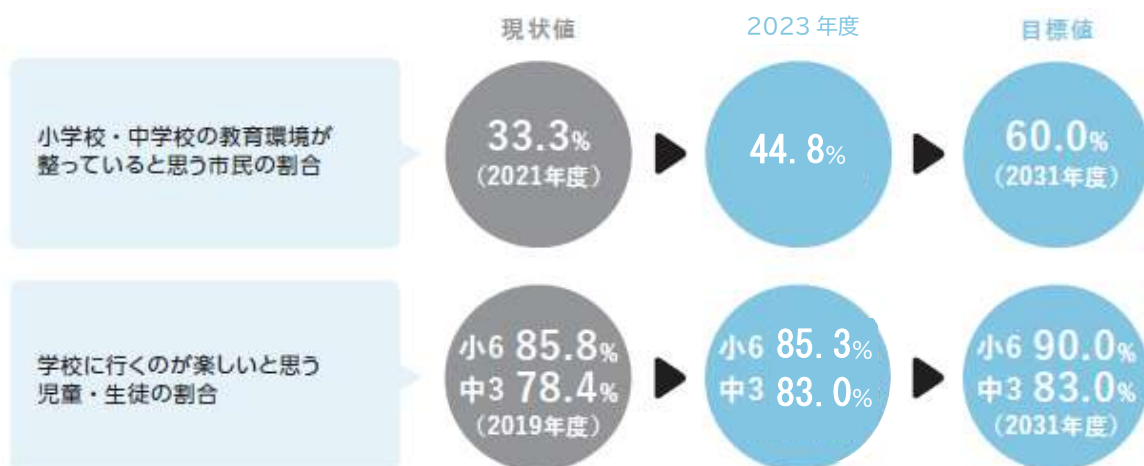
施策 2-3

教育環境を 充実させる

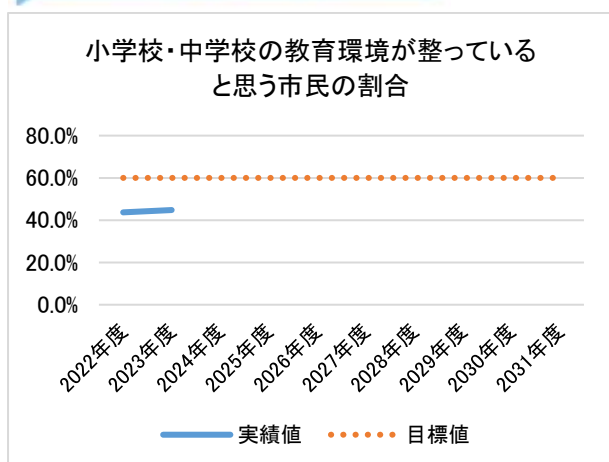
施策実現によってなりたい姿

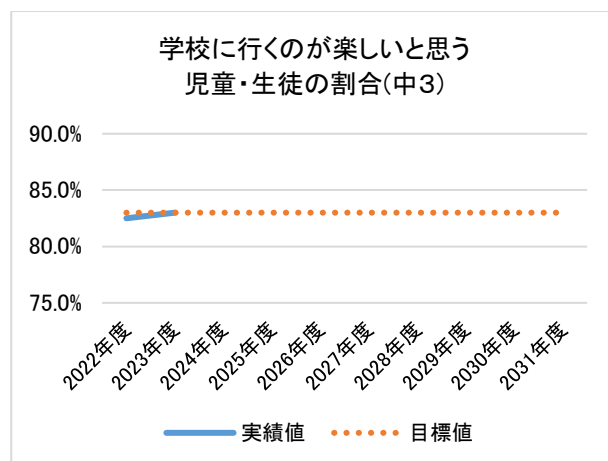
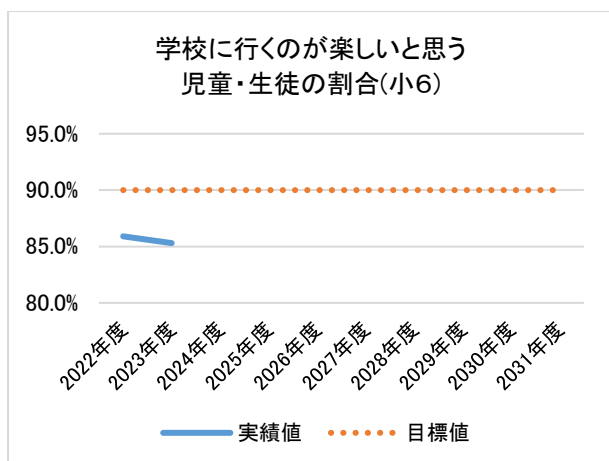
- 質の高い教育環境の下で、子どもたち一人ひとりの能力・可能性が育まれています。
- 子どもがいつでもどこでも誰でもそれぞれに適した方法・場所で教育を受けることができます。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過





施策を実現するための重点事業

- 新たな学校づくりの推進
- 小学校施設の整備
- 特別支援学級の充実
- 中学校給食センターの整備
- 中学校施設の整備

コラム

コラム

～中学校給食センターが稼働し、全員給食が始まります～

堺エリアは2024年9月、鶴川エリアは2025年1月、町田忠生小山东エリアは2025年4月、南エリアは2025年9月から全員給食を開始します。

献立は自校式の小学校と同様に市の栄養士が作成し、「美しく味良く」、「温もり」を感じて「四季を愉しむ」町田市ならではの学校給食を丁寧につくり、子どもたちに届けていきます。

食物アレルギーがある生徒の方にも安心して給食を食べていただけるよう、主たるアレルギー食材を使用しない専用の献立も用意します。

また、給食センターとしての機能だけでなく、キッチン付き多目的室やカフェ、防災備蓄倉庫、消防器具置場などを併設し、(各給食センターによって併設施設は異なります)

「地域とつながりあい新しい価値を生み出しつづける給食センター」を目指します。



給食のイメージ



鶴川エリア 中学校給食センターイメージ

施策 2-4

地域の教育力を 高める

施策実現によってなりたい姿

- 地域人材の経験やスキルをいかし、子どもたちが未来を生きる力を育むとともに地域人材の活躍の場を作り出す双方向の「連携・協働」型の活動が充実しています。

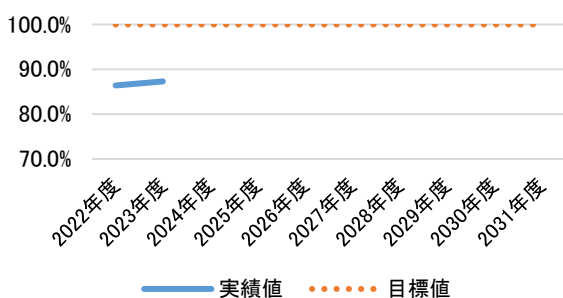
なりたい姿の実現度を測る指標

学校は地域と一体となって子どもを育む場であると感じる保護者の割合

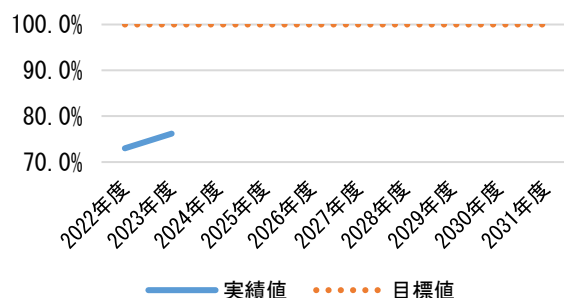


指標の経過

学校は地域と一体となって子どもたちが育む場であると感じる保護者の割合
(小学校)



学校は地域と一体となって子どもたちが育む場であると感じる保護者の割合
(中学校)



施策を実現するための重点事業

- 学校と地域の協働

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

3

自分らしい場所・時間を持てるまちになる



2023 年度の主な成果



3-2 重点事業① シティプロモーションの推進

2023 年 7 月に新たに開設したシティプロモーションサイト「まちだで好きを続ける」は 53,000 人以上の訪問と 113,000 以上の PV（アクセス数）を達成しました。

また、テレビ、ウェブサイト等のメディアに町田市が多く取り上げられ、認知獲得につながりました。

(広告換算額 約 17 億 8000 万円)

3-2 重点事業② シティセールスの推進

市内 3 会場（尾根緑道、芹ヶ谷公園、恩田川）にて町田さくらまつりを開催し、来場者数は累計で 88,000 人となりました。また、市内の観光スポットを回遊する謎解きイベントや、ウォーキングアプリを活用したデジタルスタンプラリー等を開催し、17,700 人以上の方々が参加するなど、多くの来訪者を集めることができました。



3-2 重点事業③ 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進

町田薬師池公園四季彩の杜西園を中心に、季節に合わせたイベントを開催しました。その中で、大学生による竹灯籠づくりのワークショップや、子ども向けイベントも実施しました。また、2023 年 11 月からはグリーンスローモビリティを 2 台導入し、子どもから大人まで幅広い年代に利用されています。これらの取り組みの結果、来園者数は延べ 134 万人を記録しました。

施策 3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

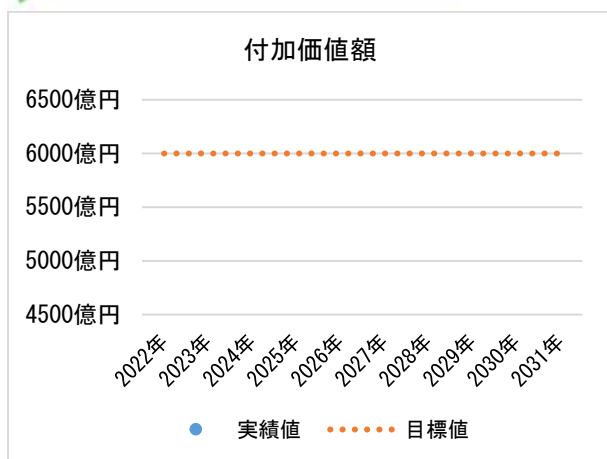
- 多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人にも選ばれるとともに、ビジネスに適した環境として、多くの事業者からも選ばれるまちになっています。
- 立ち上げる・広げる・つなぐチャレンジの支援を通じて、起業・創業がしやすい風土が根付き、事業から新しい価値が生み出されるとともに、優れた技術・ノウハウが次世代に受け継がれるまちになっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



※経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されており、2023年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 起業・創業の魅力を発信
- 事業者の次代を担う人材を育成
- 働きやすいまちづくりの推進
- 事業者の新分野・新技術への進出支援
- 円滑な事業承継の推進

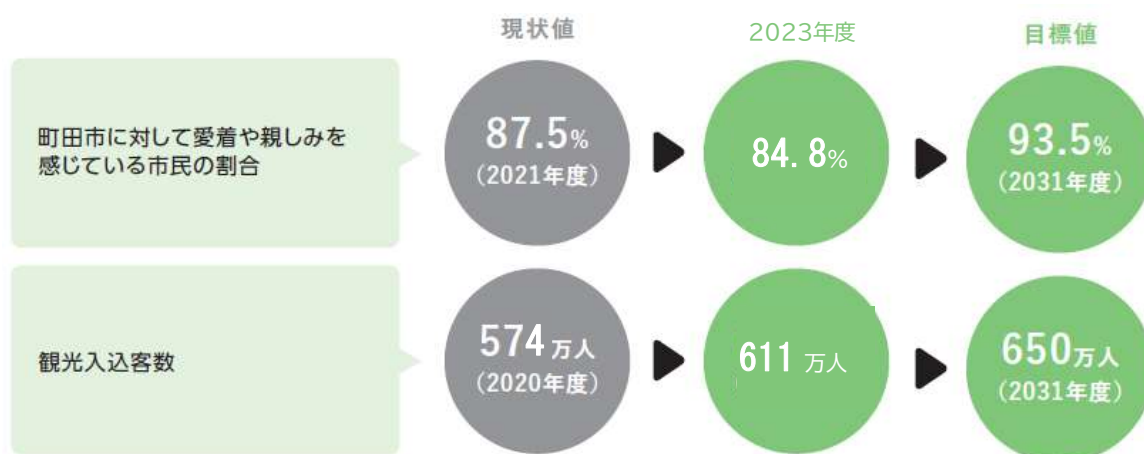
施策 3-2

町田ならではの 地域資源をいかす

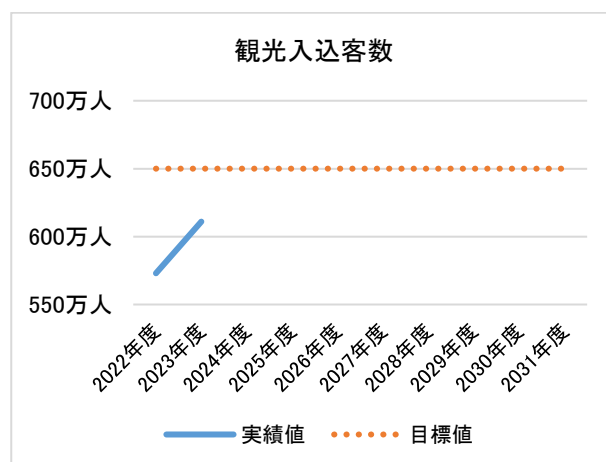
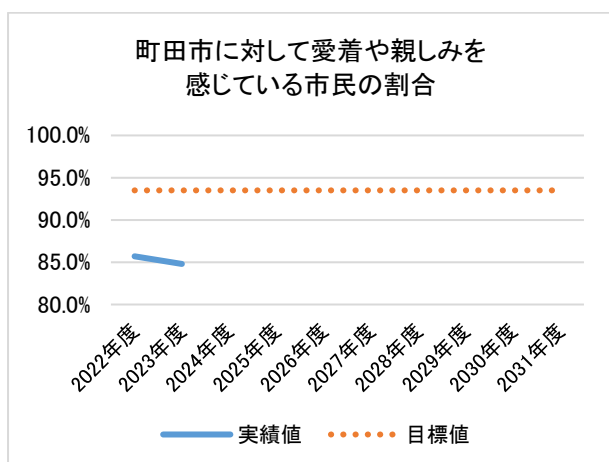
施策実現によってなりたい姿

- 子育て・教育や経済・観光、スポーツ・生涯学習、地域活動などのまちの魅力が、「町田ならではの地域資源」として認識されています。
- メディアや口コミ、WEB（SNS）などを通して発信されることにより、市内外の人との交流が生まれ、町田に対する市民の誇り・愛着や市外からの関心・憧れが育まれています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- シティプロモーションの推進
- シティセールスの推進
- 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進
- 香山緑地の整備
- 身近に農のあるまちづくり
- 里山環境の活用と保全

コラム

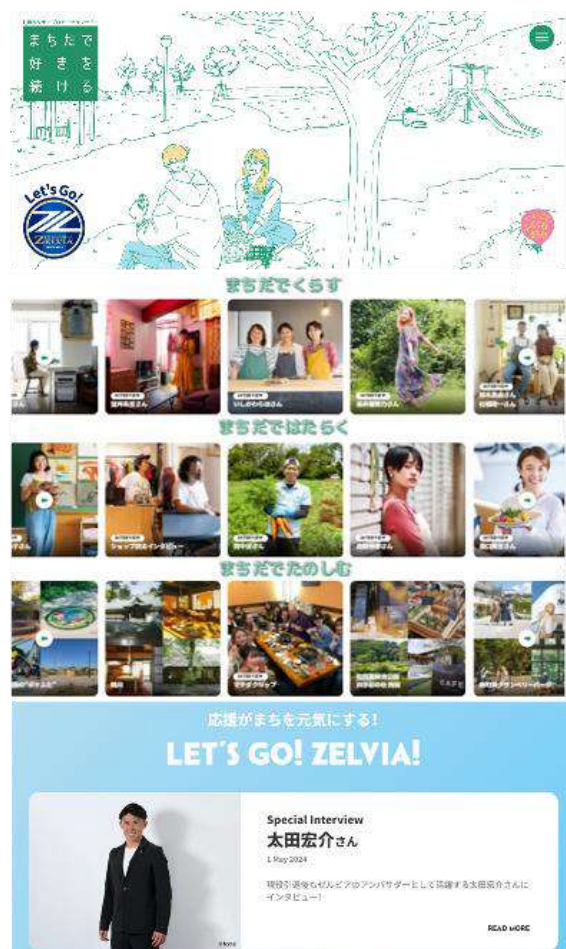
コラム

町田市シティプロモーションサイト「まちだで好きを続ける」

町田市シティプロモーションサイト「まちだで好きを続ける」は、市民が「愛着」や「誇り」を持って住み続け、市外の人が町田市への「関心」「憧れ」を抱き、いつか住んでみたいという意欲を高めることを目指したシティプロモーションの取り組みとして、2023年7月14日に公開しました。

「くらす」「はたらく」「たのしむ」の3つをメインテーマとして、市に縁のある方々へのインタビューや、おすすめスポット等に関する記事を定期的に公開しています。また、2024年5月には、F C町田ゼルビアの特設コーナー「応援がまちを元気にする！LET'S GO ZELVIA!」を開設しました。

市の魅力を発見し体感できるサイトとして、町田に住んでよかった、町田に行ってみたい、住んでみたいと思えるような魅力を、町田にかかわる皆様とともに発信していきます。



胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政 策 ／

4

いくつになっても自分の
楽しみが見つかるまちになる



2023 年度の主な成果

4-1 重点事業③ 新たな学びの支援

デジタルデバインド（情報格差）の解消のため、スマートフォンの基礎操作をマンツーマンで教える「なんでもスマホ相談室」を71回開催し、557名の市民が参加しました。また、メールやインターネットの安心安全対策の講座などを開催し、学習成果を今後いかせると答えた人の割合が88%と、目標値の72%を上回りました。



4-2 重点事業③ スポーツをする場の環境整備

小山上沼グラウンドを供用開始したほか、本町田後田公園のグラウンド・駐車場等を供用開始しました。また、(仮称)町田木曽山崎パラアリーナの整備は、2027年度中のオープンに向けて、施設規模や導入機能等の検討、関係団体等へのヒアリング等を実施し、施設の整備方針を策定しました。



4-2 重点事業⑤ ホームタウンチーム等の連携の推進

J1に昇格したホームタウンチームのFC町田ゼルビアをまち全体で応援する機運を盛り上げるため、2024シーズンの開幕に合わせ、町田駅前デッキに新たに整備されたウォールギャラリーへの壁面装飾を実施しました。道路上への横断幕やタペストリー設置、市庁舎の職員による応援Tシャツ着用といった取り組みで機運醸成を図りました。これらの取り組み効果もあり、ホームタウンチームの認知度が目標値の72.7%を上回る74%となりました。

施策 4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

施策実現によってなりたい姿

- いつでもどこでも学習しやすい環境が整い、学びの機会を逃さないようになっています。
- 学びの成果を発信しやすく、受信しやすいようになっています。
- 学習資源のデジタル化が進むことにより、学びにアクセスしやすい環境になっています。

なりたい姿の実現度を測る指標

生涯学習活動を行う機会を持つ
ことができた市民の割合

現状値

30.8%
(2021年度)

2023年度

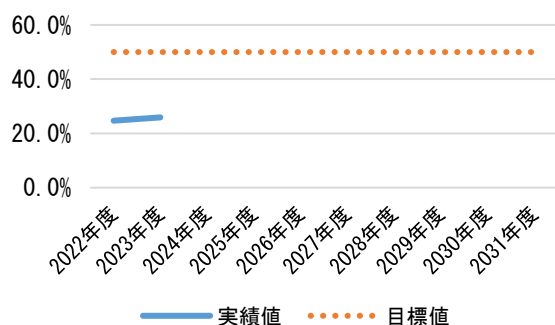
25.9%

目標値

50.0%
(2031年度)

指標の経過

生涯学習活動を行う機会を持つことが
できた市民の割合



施策を実現するための重点事業

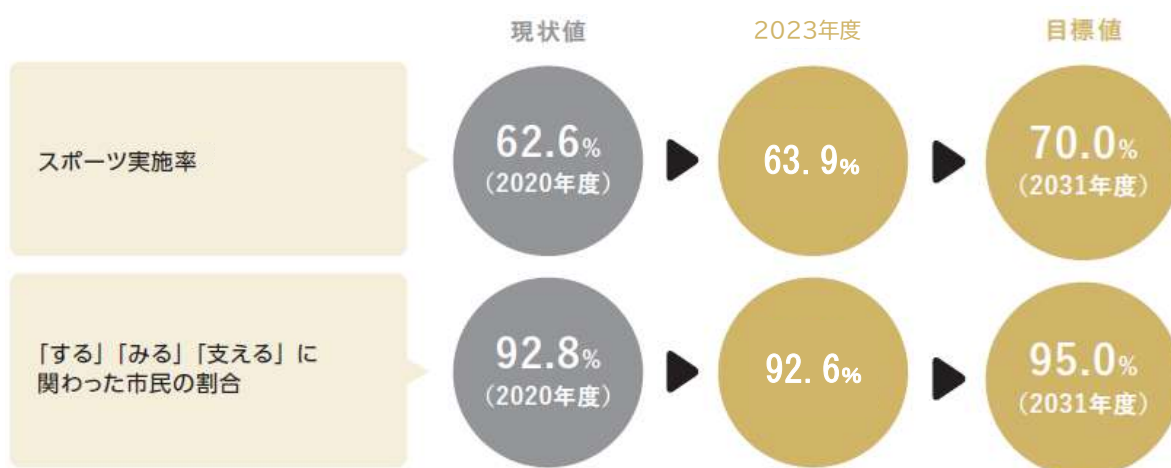
- ワタシが主役の図書館づくりの推進
- 新たな図書館様式の推進
- 新たな学びの支援

施策 4-2 スポーツへの参加機会を充実させる

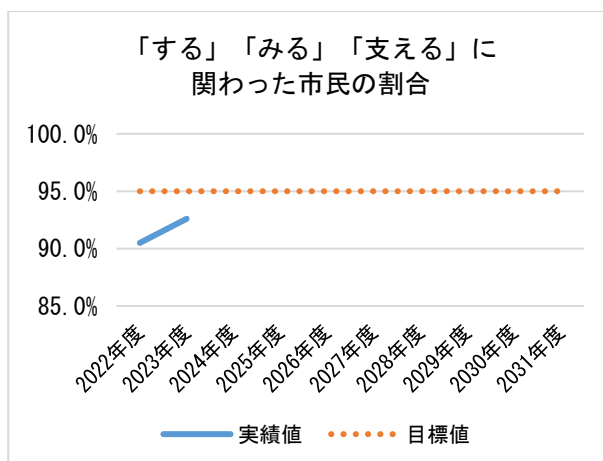
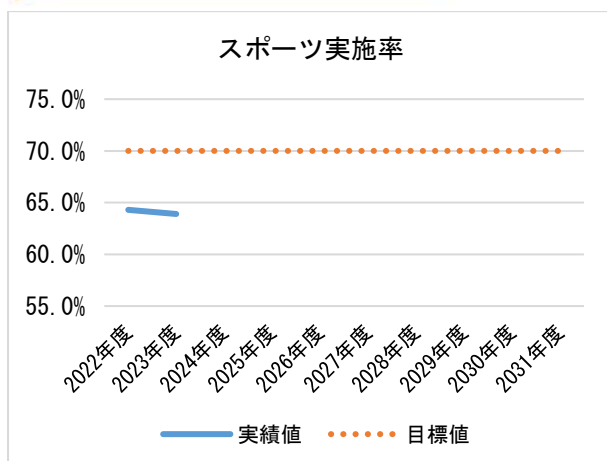
施策実現によってなりたい姿

- 「スポーツで人とまちが一つになる」を実現しています。
- 市民誰もがスポーツを楽しむことができ、スポーツを通じて様々な主体が連携して、まちの賑わいと魅力が生まれ、市民の愛着・誇りが高まっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 地域のスポーツ環境の充実（再掲）
- 野津田公園スポーツの森の整備
- スポーツをする場の環境整備
- 忠生スポーツ公園の整備
- ホームタウンチーム等との連携の推進

コラム

コラム

『パラスポーツに親しめる新しいアリーナを整備します！』 ～（仮称）町田木曽山崎パラアリーナ整備・運営事業～

全国、また、東京都内においても、パラアスリートの活動場所やパラスポーツに親しめる場が少ない現状があります。そこで市では、地域の高齢者の健康づくり推進と、障がい者のスポーツ推進によるパラスポーツの普及・啓発のため、団地再生が進む「木曽山崎団地地区」の小学校跡地に、パラリンピックのレガシーを継承する新しいアリーナ（体育館）を整備します。

パラスポーツの普及啓発・理解促進を図ることで、共生社会の実現、ひいては「心のバリアフリー」に取り組んでいきます。

【施設の特長・使用イメージ】

整備にあたっては、ユニバーサルデザインを取り入れ、障がいの有無や種別にかかわらず、誰もが利用しやすいインクルーシブな施設づくりを行います。体育館には、車いすスポーツに対応した頑丈な床や幅広いコート外のスペースなどを設置することで、パラスポーツの体験教室やパラアスリートによる練習利用・見学が実施できます。また、高齢者向けの様々な教室事業や、各種目の一般開放利用などを実施します。パラスポーツの推進はもちろん、子どもから高齢者まで幅広い世代に親しまれ、末永く愛されるアリーナを目指します。



胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 /

5

人生の豊かさを 実感できるまちになる



2023 年度の主な成果



5-1 重点事業① 地域介護予防活動支援

「町トレ」など介護予防活動を行う地域のグループに対して、実技指導や体力測定等を行い、継続的な活動を支援しました。また、チラシやポスター、希望者への事業説明等を通じて実施方法や効果の周知を行ったことで、17グループが新たに活動を立ち上げ、累計数は目標値を上回る 210 団体になりました。

5-2 重点事業① 認知症の人やその家族の居場所づくり

認知症の人やその家族、医療福祉関係者、学生等、幅広い方々とともに「認知症とともに生きるまち」を実現するため、まちづくりワークショップを実施し、88人が参加しました。これにより累計参加者数は、目標値 60 人を大きく上回る 216 人となりました。また、認知症の人やその家族、支援者、地域住民等が参加できる D カフェを定期的開催し、身近な居場所づくりに取り組みました。



5-2 重点事業② 介護人材の確保・育成・定着

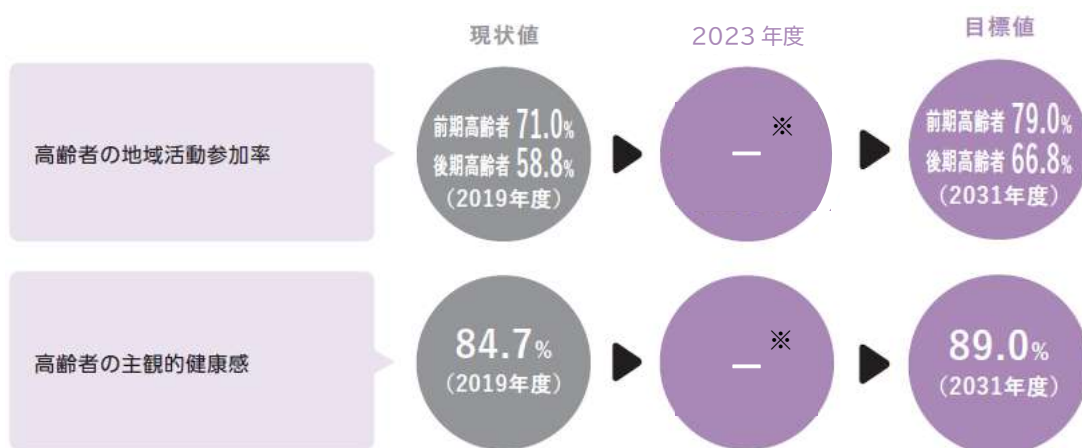
町田市介護人材バンクにて、就職面接会やオンラインを含む就労相談、求職・求人アプリの運用、介護職員初任者研修の資格取得支援などを実施した結果、目標値 45 人を上回る 63 人が就労しました。

施策 5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

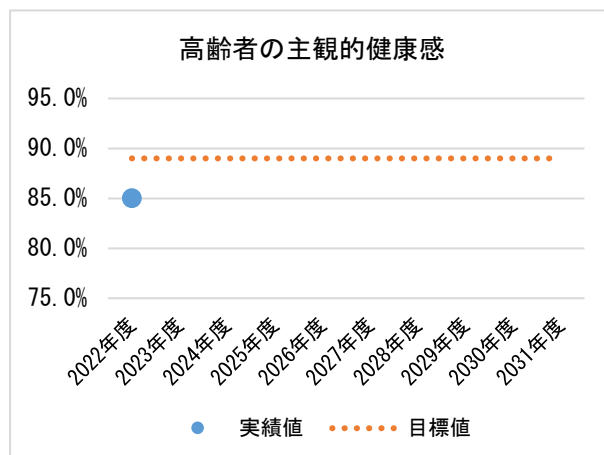
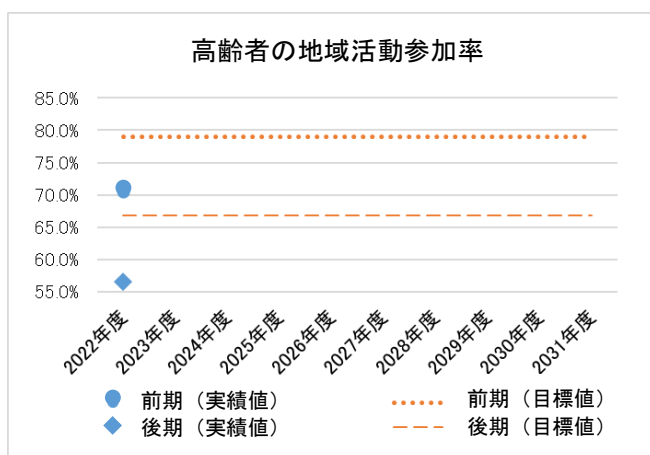
- 高齢者が住み慣れた地域で、地域の一員としていきいきと暮らすことができます。

なりたい姿の実現度を測る指標



※「健康とくらしの調査」によって、3年に1回調査されており、2023年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 地域介護予防活動支援

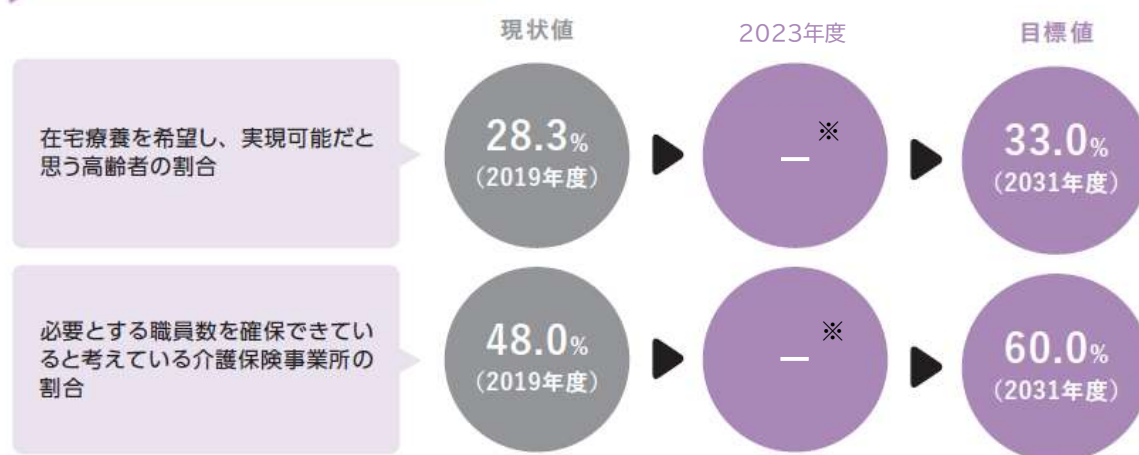
施策 5-2

高齢者を地域で支える体制をつくる

施策実現によってなりたい姿

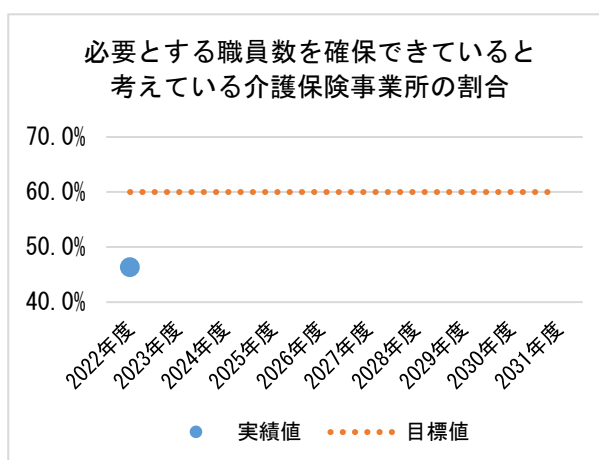
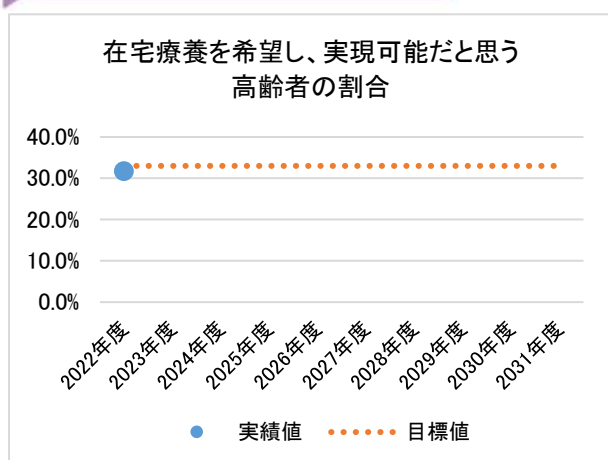
- 支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できています。
- よりよい介護サービスを安心して利用し続けることができます。

なりたい姿の実現度を測る指標



※「健康とくらしの調査」及び「高齢者の福祉や介護に関する調査」によって、3年に1回調査されており、2023年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 認知症の人やその家族の居場所づくり
- 介護人材の確保・育成・定着

全世代に向けて

政策 /

6

つながりを力にする まちになる



2023 年度の主な成果



6-1 重点事業① 地域活動団体支援

町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」における協働イベントを促進するワークショップを開催し、新たに 38 団体の活動の活性化につなげました。また、「まちカフェ！」開催に向け、活動の相談や交流ができる場「まちカフェ！オープンデー」を毎月市庁舎で開催したほか、市民活動に関心のある学生を団体につなげる取り組み等を行い、団体交流の支援を実施した結果、新たに 22 件のマッチングを行いました。

6-1 重点事業③

地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化

2024 年 1 月に鶴川地区に「まちだ福祉〇(まる)ごとサポートセンター鶴川」を開設し、地域福祉コーディネーターを配置しました。また、既に事業を実施している「まちだ福祉〇(まる)ごとサポートセンター堺」では、1 年間で約 1,100 件の相談を受けました。これまでの活動の中で 100 件を超える戸別訪問を行い、8050 問題を抱えた世帯にひきこもりの家族会を紹介するなど、一人ひとりの状況に応じ適切な支援につなぎました。

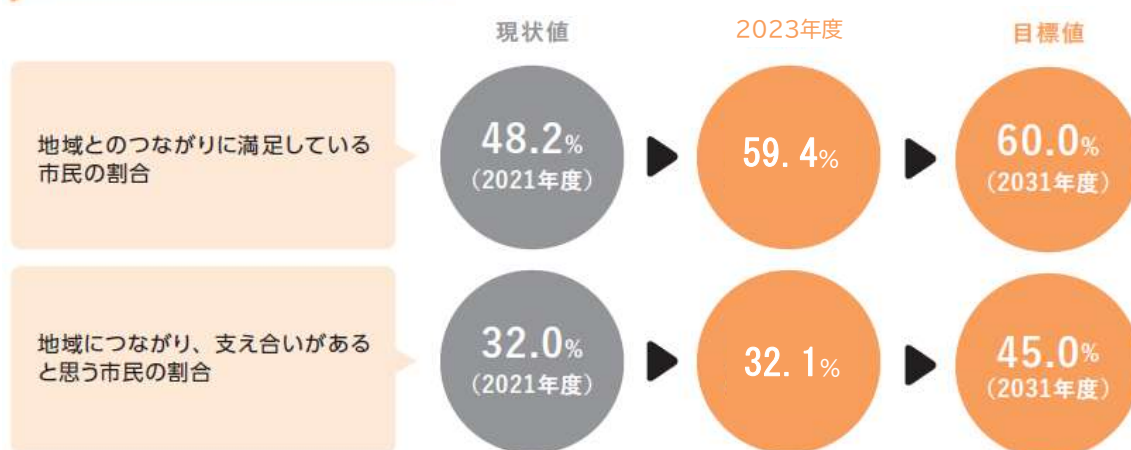


施策 6-1 つながり、支え合える 基盤をつくる

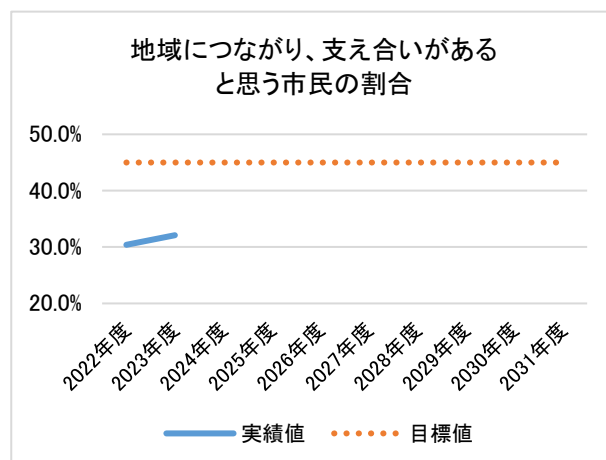
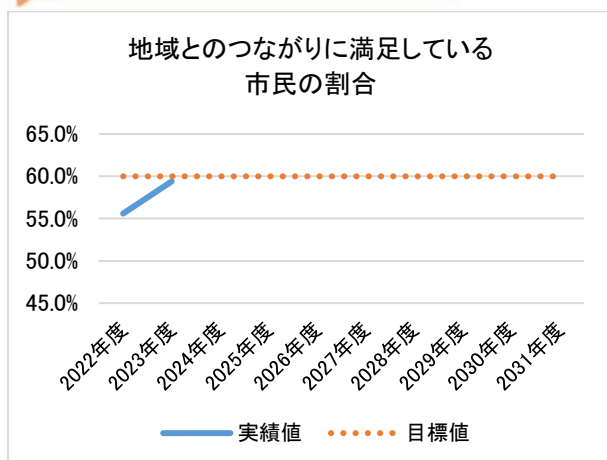
施策実現によってなりたい姿

- 地域や人との多様な関わり方がある中で、「自分ゴト」として地域活動への参加がしやすい状態になっています。個人の「やりたいこと」「できること」と地域ニーズとのマッチングが進み、より多くのつながりが創出されています。
- 市民、事業者、行政などが一体となって地域課題の解決に取り組むことで、新たなアイデアや活力が創出されています。
- 地域自らが地域の課題を把握し、支援につなげることができています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 地域活動団体支援（再掲）
- 町田市地域ホッとプランの推進
- ワタシが主役の図書館づくりの推進

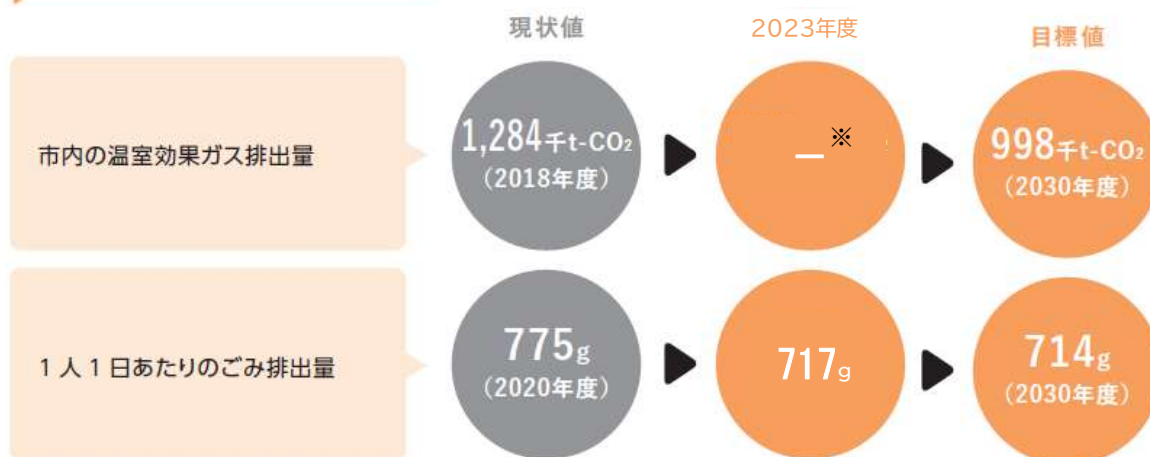
施策 6-2

みんなで将来に受け継ぐ 持続可能な環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

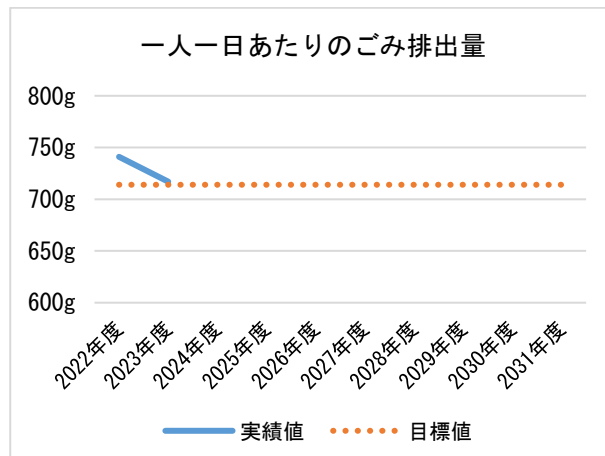
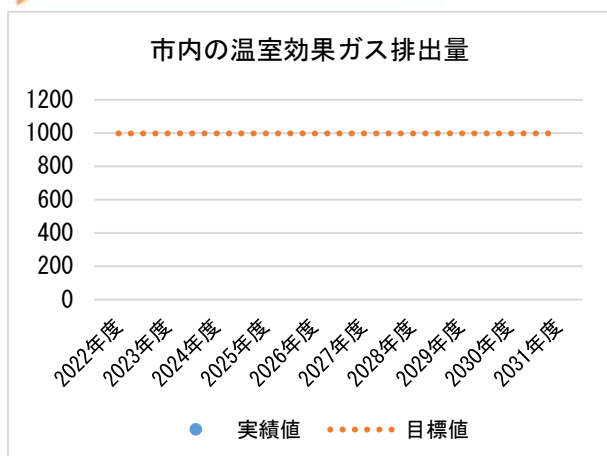
- 市民、事業者、行政が協力して、地球温暖化対策や生物多様性^{*}の保全に取り組み、次の世代が暮らしやすい環境が受け継がれています。
- 市民、事業者、行政が協力して、ごみの発生抑制、適正処理、リサイクルを行っています。

なりたい姿の実現度を測る指標



※「市内の温室効果ガス排出量」の2022年度、2023年度の数値は、本取り組み結果公表時点で未公表のため、「—（ハイフン）」としています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 地球温暖化対策の推進
- プラスチックごみの減量の推進
- 資源循環型施設の整備

全世代に向けて

政策 /

7

ありのまま自分を 表現できるまちになる



2023 年度の主な成果



7-1 重点事業① 性の多様性への理解の促進

2023 年 4 月 1 日に「町田市性の多様性の尊重に関する条例」を施行し、「町田市パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。市庁舎を「LGBTQ+」のシンボルカラーである虹色にライトアップすることをはじめ、様々な広報活動を行った結果、10 件の宣誓がありました。また、教職員研修を新たに実施し、教育に携わる方へのアプローチを通じて、児童生徒への理解促進にもつなげました。

コラム

「つながる、ひろがる、ともに生きる」

～障がいの有無にかかわらず誰もがともに生きる社会を目指して～

町田市では、すべての人が、障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に寄与することを目的として、「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」を制定しました（2024 年 10 月 1 日施行）。

障がいがある人への差別をなくし、誰もがともに生きる社会をつくるためには、市や事業者だけでなく、市民一人ひとりが、今なお社会に存在する様々な障壁や、障がいに対する誤解や偏見をなくしていかなければなりません。本条例では、障がい理解について市民一人ひとりまで浸透していくことが大切であるという考えのもと、市民の皆さまに対しても「合理的配慮※」を努力義務として規定しました。

また、障がいがある人の役割として、障がいを理由とする困りごとや必要な支援内容について、自ら発信していただくことも努力義務として規定しています。条例によって、障がいや障がいがある人への理解を促進し、様々な周知の取り組みを通じて、障がいがある人への合理的配慮が進むことで、全ての人が障がいの有無にかかわらず、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指します。

※「合理的配慮」とは・・・障がいがある人から、社会の中にある社会的障壁（バリア）を取り除くために、何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき、負担が重すぎない範囲で対応することです。



町田市障がい者差別
解消犬
「ノンバリー」
イラスト ikeko

施策 7-1

一人ひとりの個性を大切に する地域をつくる

施策実現によってなりたい姿

- 誰もが安心して快適に住み続けることができる地域社会になっています。
- 必要な人に、必要となる配慮や支援が届けられる環境が整っています。
- 一人ひとりの人権を尊重し認め合い、その人の個性と能力を十分に発揮することで、その人らしくいきいきと生きることができています。

なりたい姿の実現度を測る指標

性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合

現状値

81.8%
(2020年度)

2023年度

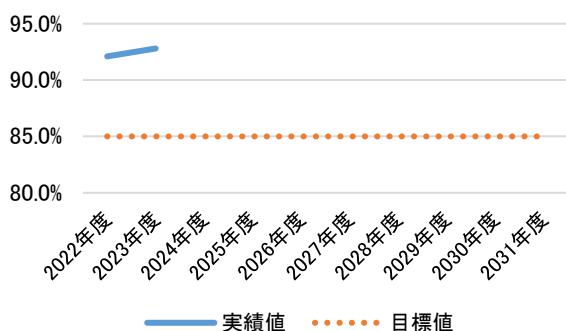
92.8%

目標値

85.0%
(2031年度)

指標の経過

性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合



施策を実現するための重点事業

- 性の多様性への理解の促進
- 障がい者差別解消推進
- 成年後見制度の利用支援

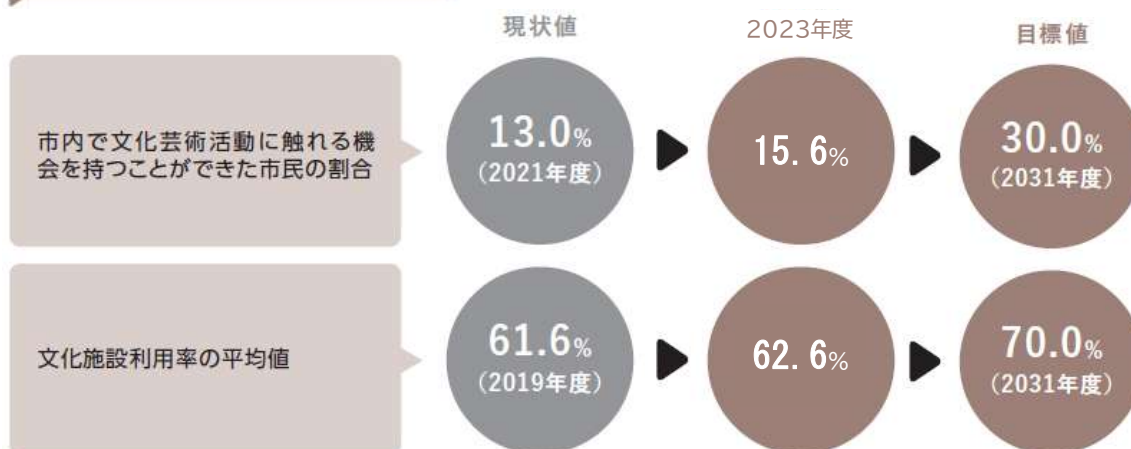
コラム

文化芸術に親しめる 環境・機会を充実させる

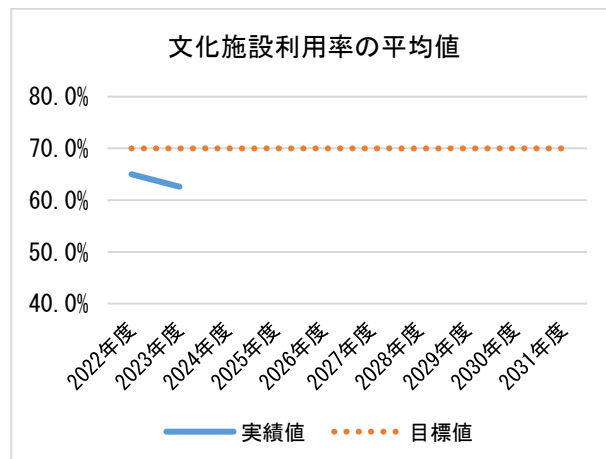
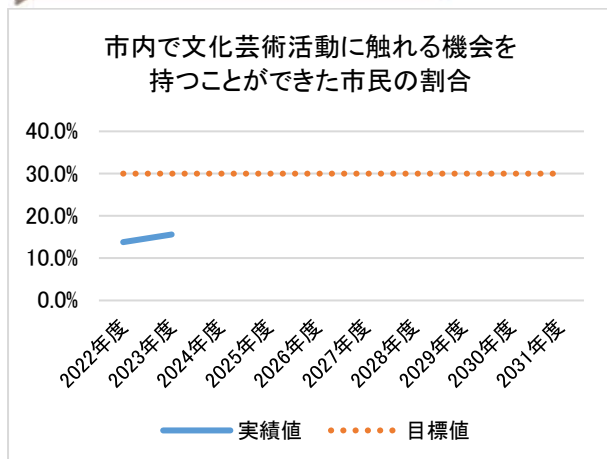
施策実現によってなりたい姿

- 「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまち」になっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアムの整備

コラム

芹ヶ谷公園パークミュージアム



芹ヶ谷公園では、**公園全体がまるで大きなミュージアム**になるような、多様な文化芸術活動や公園の豊かな自然を体験し、学び、楽しむことができる新しい体験型の公園**“パークミュージアム”**を目指しています。そんな“パークミュージアム”の姿を、みんなで想像・創造し、体験する参加型のイベント「**Future Park Lab**」を毎年実施し、これまで、様々な方々と一緒に、色々な企画に取り組んできました！



例えば、ゆかいな動物のアートバナーが木々の間から顔をのぞかせ、まるで動物園のような空間を楽しむ「アートな動物園」。動物たちを探して公園中を散策したり、動物と同じポーズをとってみたり、楽しそうな様子を公園のあちらこちらで見ることができました。毎年少しずつ動物が増えているのでどんな動物がいるのかぜひ探してみてください。

また、まちなかにあるオブジェを2匹のネコと一緒に巡る「芹ヶ谷まんがめぐり」も開催！園内に散りばめられた巨大まんがのひとコマを巡り、ネコと一緒にアート探訪を楽しめました。展示だけでなく、モデルとなったオブジェをまちなかで探された方や、市外から来られた方もおり、改めて町田の魅力を知ることができる、そして新たな層に芹ヶ谷公園を知ってもらう、そんなきっかけとなる企画であったと感じました。



インドネシアの伝統的な影絵芝居「ワヤン・クリット」の企画では、子どもたちが考えた生きものを紙で作し、木と木の間に設置した大きなスクリーンに映し出しました！子どもたちの豊かな想像力でストーリーが紡がれ、笑ったり、驚いたり、その場にいた方々は個性豊かな生きものたちと一緒に感情を共有しながら、その一夜だけの特別な公演を楽しんでいました。

その他にも、絵を描き、一斉に空へと浮かばせた「ランタン」等、様々な企画を行っています。「子ども」と「体験」を大切にしながら、子どもから大人まで誰もが、美術館に入らなくても、公園に来たら気軽にアートが楽しめる、文化芸術に触れるきっかけになるような空間づくりを進めています。



芹ヶ谷公園での体験をきっかけに、「今度は美術館に行ってみようかな」と思え、文化芸術を身近に感じていただけるように。そして「芹ヶ谷公園ならではの」体験ができるような、さらにゆくゆくは、「芹ヶ谷公園で生まれた文化」が体験できるような公園づくりに向けて、取り組んでいます。「芹ヶ谷公園での体験」を通じてできた人や作品との出会い・つながりを、参加者みんなで大変にしていきたいと思いますし、コラムを作成している私自身も、大変にしていきたいと思っています。

全世代に向けて

政策 /

8

思わず出歩きたくなる まちになる



2023 年度の主な成果



8-1 重点事業⑥ 鶴川駅周辺のまちづくりの推進

再整備を進めている鶴川駅周辺においては、駅北口交通広場と南口アクセス道路の整備の予定を前倒しで進めることができました。新しい北口交通広場については、2024 年 2 月に仮使用を開始しており、一般車乗降スペースを新たに新設したほか、2 つに分かれていたタクシー乗り場を集約しています。

8-3 重点事業⑥ 忠生スポーツ公園の整備

忠生スポーツ公園（池の辺地区）の整備工事が完了し、2023 年 9 月に開園しました。子どもたちが思いっきり遊べる大きな芝生広場や複合遊具に加え、スポーツや体力づくりの場として、ジョギングコースやバスケットボールコート、テニスの壁打ち場を整備しました。



8-3 重点事業⑧ 都市農地の保全活用の取り組み

市民と農をつなぐ「まちだベジハブ」が主体となって「駅前マルシェ」などの取り組みを実施し、多くの人に都市農地に触れる機会を創出しました。また、2024 年 3 月に実施した「まちだ ECOto フェスタ」に出店し、地元産の新鮮な野菜販売やパネル展示を行い、多くの方から好評を得ることができました。

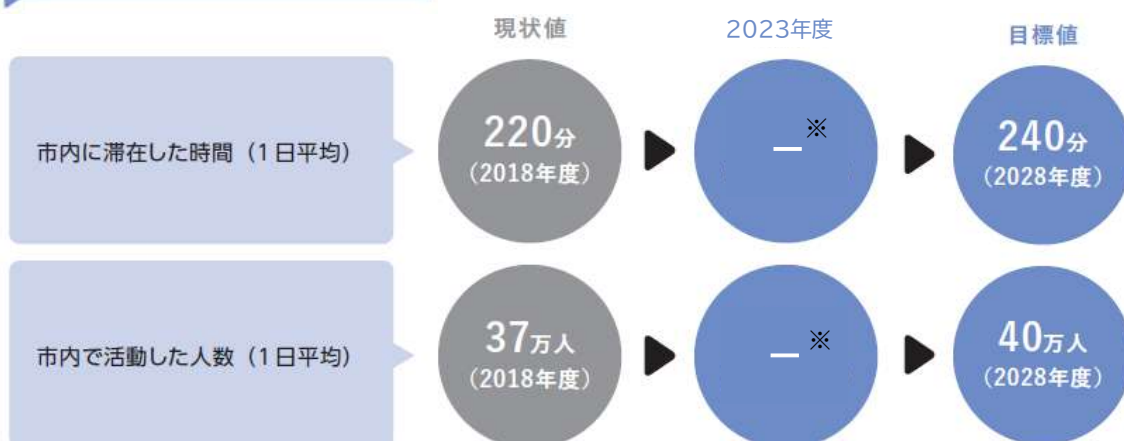
施策 8-1

気軽に外かけてつながれる 環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

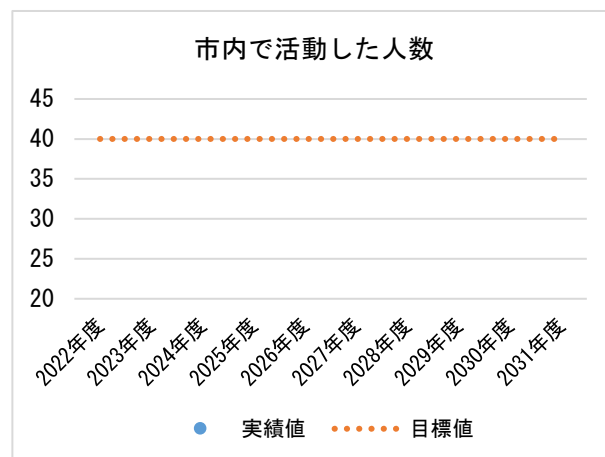
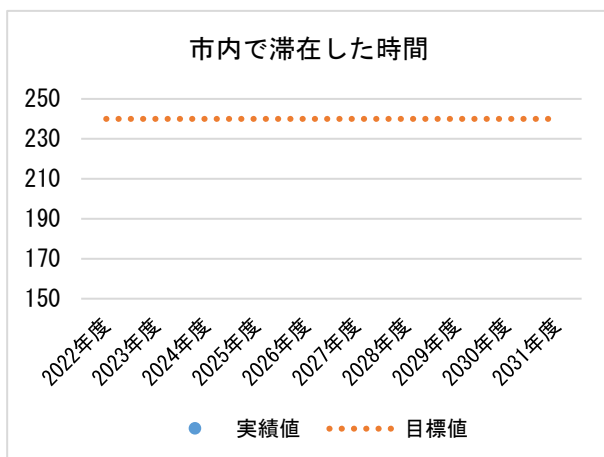
- 多様な交通手段の中から自分に合った方法を選んで、目的地まで快適に移動ができています。多くの人が市内への外出を楽しんでいると感じており、まちなかで活動する人が増えています。
- 日常生活に必要なモノ・サービスに簡単にアクセスできる環境が整っています。多くの人が市内で活動する便利さや快適さを感じており、様々な活動の場として選ばれています。

なりたい姿の実現度を測る指標



※「市内に滞在した時間」「市内で活動した人数」は、概ね10年に1回パーソントリップ調査によって調査されており、2023年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 小さな交通・地域で支える交通環境の整備
- 大きな・速い交通の整備
- 自転車利用環境の整備
- 都市計画道路の整備
- 準幹線道路の整備
- 鶴川駅周辺のまちづくりの推進
- 相原駅周辺のまちづくりの推進

コラム

コラム

モノレール沿線まちづくり構想（2024年3月）の策定について

多摩都市モノレール町田方面延伸については、2016年4月に国の交通政策審議会答申で「意義のあるプロジェクト」とされ、その後、2022年1月には東京都の「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」において選定された延伸ルートが公表されました。

本構想の策定の目的は、モノレール沿線地域において、多摩市、町田市両市の基本構想で掲げるまちの姿を実現するために、モノレールは都市インフラとして必要不可欠であることから、モノレールが走るまちの将来像やその実現に向けたまちづくりの方向性、段階的な取組方針を明らかにすることです。

沿線地域の課題を解消するとともに、モノレールの特性と期待される人やまちへの効果を踏まえて、目指す沿線のビジョン「みんなが安心して快適に住み続けられる わたしの“ココチよさ”がかなうまち」を定めました。今後は、ビジョン実現を目指して、「暮らしやすさや過ごしやすさ」を向上させる13の取組と「移動の利便性」を高める3つの取組を推進していきます。



図2 沿線ビジョンのイメージ

（モノレールによるエリアのつながりと各エリアの将来イメージ）



施策 8-2

ライフスタイルに合わせて 自分らしくまちを使えるようにする

施策実現によってなりたい姿

- 拠点駅の近くは「働く」「遊ぶ」「集う」「住む」など多様な使い方ができるとともに、歩く目的に溢れています。楽しい時間を過ごすことができ、新しいことが生まれ、人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるようなまちが形成されています。
- 多様な選択肢から自分に合った住まいや働き方が選んでいます。市内だけでなく市外からもライフステージに合わせた住み替えが進み、多世代交流・共生のまちが形成されています。
- 身近な公園や農地などのオープンスペースを柔軟に使える環境と、多様な活動を推進する仕組みが整っています。多くの人々が身近なオープンスペースで思い思いに活動し、日常的にまちを使うことで地域への愛着が醸成されています。

なりたい姿の実現度を測る指標

自分が住む地域での生活に満足している市民の割合

現状値

77.0%
(2021年度)

2023年度

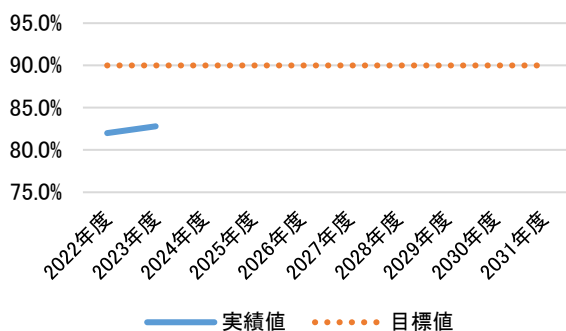
82.8%

目標値

90.0%
(2031年度)

指標の経過

自分が住む地域での生活に満足している市民の割合



施策を実現するための重点事業

- 団地再生の推進
- 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進
- 木曽山崎地区のまちづくりの推進
- 町田駅周辺地区のまちづくりの推進
- 中心市街地の賑わい空間の創出

コラム

『町田駅周辺の再開発～新たな賑わいと交流の創出～』 (町田駅周辺開発推進計画 2024 年 6 月策定)

これからも町田の活気をリードするのは、なんだかんだいっても町田駅周辺の中心市街地です。

「商都まちだ」と呼ばれ、商業の賑わいで多くの人々を惹きつけてきた中心市街地は今、再整備・再開発の時期を迎えています。これからも多くの人々に「町田に行こう、町田で集まろう」と思ってもらえるようなまちであるためには、商業の賑わいに加えて、「誰かと一緒に楽しむ・体験する」といった新しい賑わい、つまりエンターテインメントの要素を取り入れたまちづくりが必要です。

町田駅周辺の再開発にあたっては、例えば、友達と映画を楽しむ、スポーツや音楽を楽しむ、そういったエンターテインメントのコンテンツを誘導していくことによって、住む人や訪れる人に、「この先の町田はもっと賑わっていく」といった期待感を抱いてもらいたいと思っています。

再開発では、映画館や音楽・演劇ホール等の「エンターテインメントによる新たな賑わいの核となる機能」を導入するとともに、駅からまちへの回遊性をより一層高めていきます。

そして、中心市街地全体に波及効果を生み出すまちづくりを実現することで、これからも周辺都市をけん引する拠点として発展し続けることを目指していきます。

〈開発による波及効果のイメージ図〉



施策 8-3

健やかで心地よい時間を 過ごせる環境をつくる

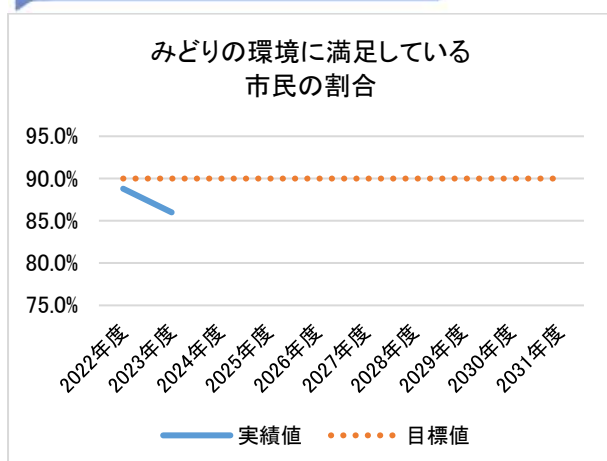
施策実現によってなりたい姿

- 地域の特色に合わせたみどりの空間づくりにより、多彩で豊富なみどりがまちを象徴する魅力の一つに育っています。多くの人がみどりの中で日常的に心地よい時間を過ごし、みどりを馴染み深い場所と感じています。
- みどり（公園、農地、里山など）を活用した地域住民の能動的な活動が促され、地域内資源の循環が促進されています。
- 都市農地 の保全と利活用により、農地の多面的機能が発揮されています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアムの整備（再掲）
- 野津田公園スポーツの森の整備（再掲）
- （仮称）蓮田公園の整備
- （仮称）大戸広場の整備
- 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進（再掲）
- 香山緑地の整備（再掲）
- 忠生スポーツ公園の整備
- 都市農地の保全活用の取組

全世代に向けて

＼ 政 策 ／

9

みんなが安心できる 強いまちになる



2023 年度の主な成果



9-1 重点事業① 自主防災リーダーの育成

災害時の避難の新しい手法である「アウトドア防災」をテーマとし、町田第五小学校と子ども創造キャンパスひなた村の2か所で、屋外テントを活用した宿泊体験や火起こし・炊事体験等を行い、幅広い世代の参加者が楽しみながら避難生活に必要なスキルを身に付けました。

9-2 重点事業① 協働パトロールの充実

市、警察や地域団体等との定期的な協働パトロールに加え、業界の関係団体に働きかけを行い、夜間の客引き防止や環境美化を目的としたパトロールを行いました。さらに、親子世代の方、学生の方とも協働して実施するなど様々な取り組みを積極的に行い、目標値48回を上回る57回の協働パトロールを実施しました。



9-2 重点事業② 交通安全ミーティングの推進

子どもや高齢者、送迎業務に従事する方などを対象に、交通安全に関する意見交換を行うミーティングを実施しました。ミーティングで得られた情報を、全国交通安全運動などの各種啓発活動や、交通安全に関するリーフレットの作成に活用しました。

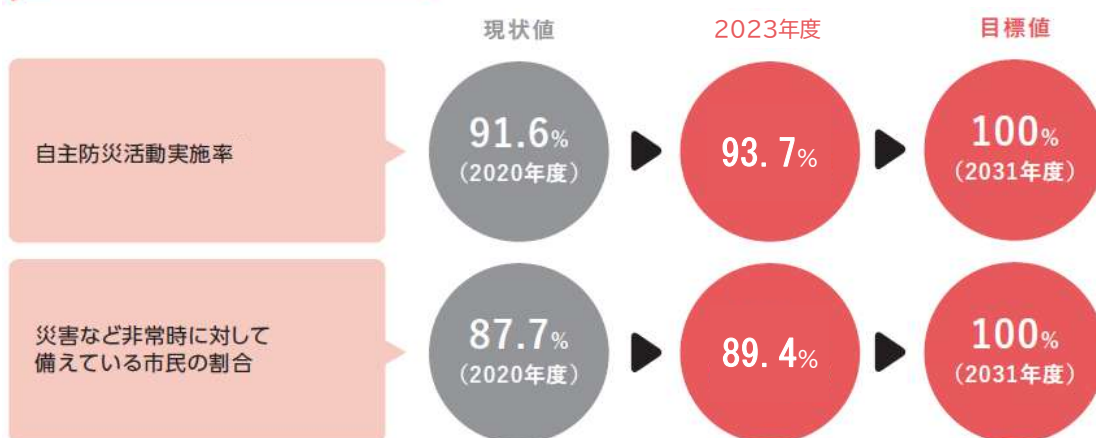
施策 9-1

ひと・まちを 災害に強くする

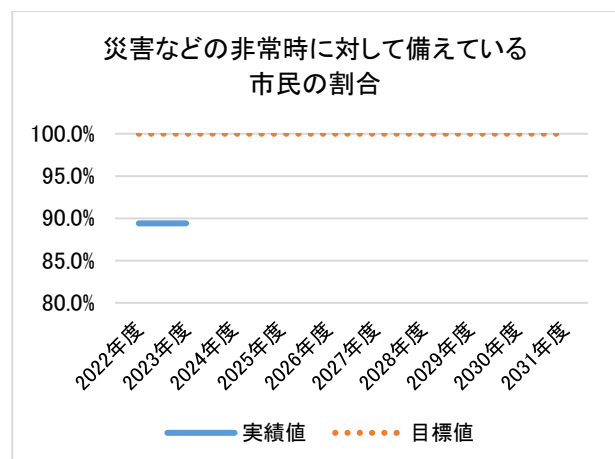
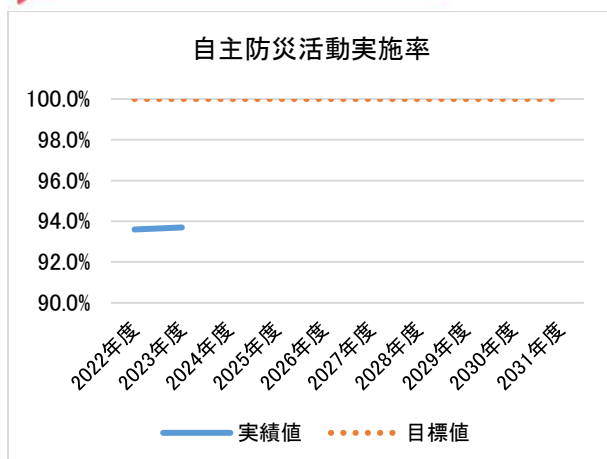
施策実現によってなりたい姿

- 市民一人ひとりが、災害に対して備えるとともに、地域における防災活動に積極的に参加することで、地域一丸となって災害に対応する体制が整っています。また、道路などの各種インフラが整備され、災害復旧時に有効活用されています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 自主防災リーダーの育成 **コラム**
- 地震対策（雨水管の耐震化）
- 浸水対策の推進
- 住宅の耐震化の促進
- 避難行動要支援者の避難支援体制整備
- 地震対策（下水道処理施設の耐震化）
- 無電柱化の推進
- 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の促進

『アウトドア防災のすすめ』

2023年度のまちだ防災カレッジでは、アウトドアを体験しながら、「在宅避難」に備えることに取り組みました。町田第五小学校での校庭でテントを張ったお泊まり体験や、ひなた村での火おこし、災害時のトイレづくりなどを楽しみながら体験しました。コツを掴めば簡単で、災害時でも普段に近い食事や生活ができます。ぜひ、アウトドアでも、ご家庭でもお試しください。

参加者からは「難しいイメージの防災なのに楽しかった」との声が多く寄せられました。まちだ防災カレッジでは、若い世代が関心を持ちやすい要素を取り入れた「楽しみながら学べる防災啓発」に引き続き取り組んでいきます。



ポイント♪

市が備蓄しているテントをみんなで協力して組み立て、各自のベースを作りました。夜ご飯は、ポリ袋を使ってアイデアを出しながら即興でクッキング。ポリ袋の湯せん調理は、節水できるので、ライフラインが止まっても食べ慣れたごはんを作れます。夜は焚火を囲み、朝はヨガですっきり！避難時だからこそ、運動は大切です。

ポリ袋で炊くごはん

- ① 耐熱性のポリ袋にお米を1合、お水を1合入れる。
*できれば浸水させておくとより美味しい。
*少量で良い場合は、0.5合でもOK
- ② 空気を絞り出すようにして口をきつく縛る。
- ③ お鍋でお湯を多めに沸かす。
- ④ お湯が沸いたら、鍋の底に皿や落とし蓋を敷く。
- ⑤ ポリ袋を入れて蓋をし20分湯煎する。
- ⑥ 火を消して蓋をしたまま20分ほど蒸らす。



ポイント！

- ・浸水20分・湯煎20分・蒸らし20分で覚えておこう！
- ・鍋肌にポリ袋が触れて溶けないよう皿や落とし蓋を使います。
- ・沸かしたお湯は何度でも使え、湯煎や蒸らしと同時にレトルトパックも温められます。
- ・ポリ袋のままおにぎりにすると衛生的です。
- ・テフロン加工のフライパン、焦げ付かないシート、キッチンばさみなどは、洗い物を減らすのに便利です。



あると便利なキッチン道具

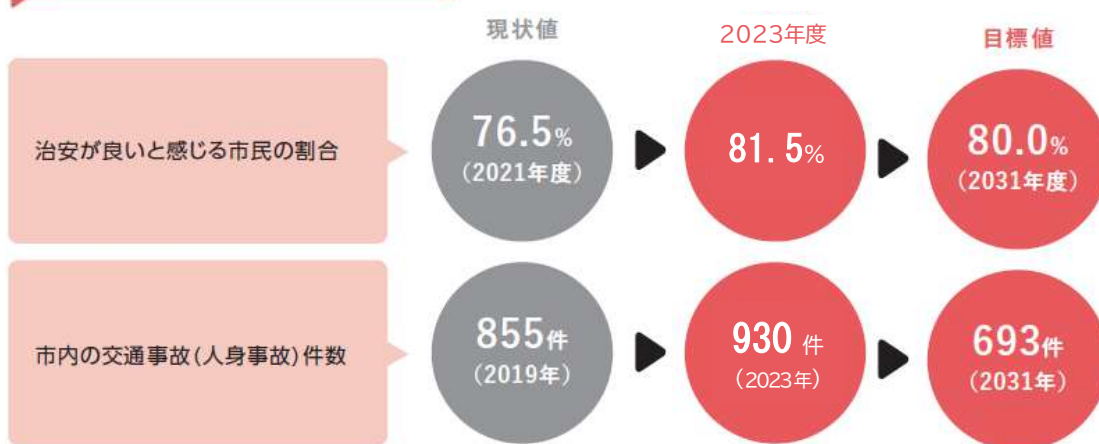
施策 9-2

地域の安全を守る

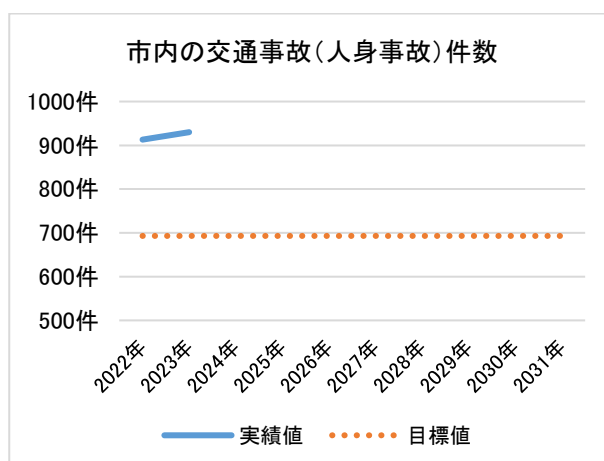
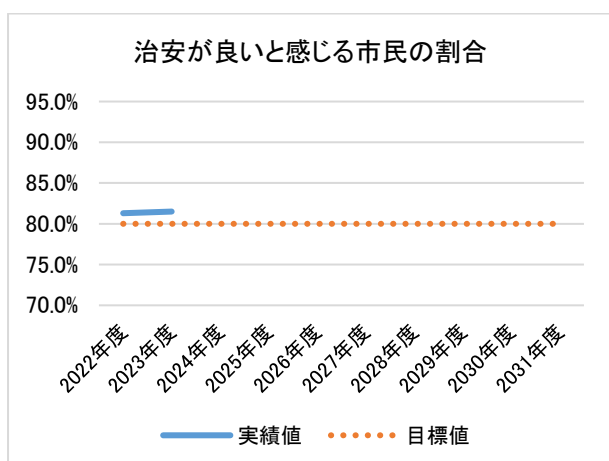
施策実現によってなりたい姿

- 町田市で暮らす人が安全に生活でき、町田市を訪れる人が安心して訪れることができます。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 協働パトロールの充実
- 交通安全ミーティングの推進
- 踏切道の改良
- 道路安全設備の緊急更新
- 自転車利用環境の整備

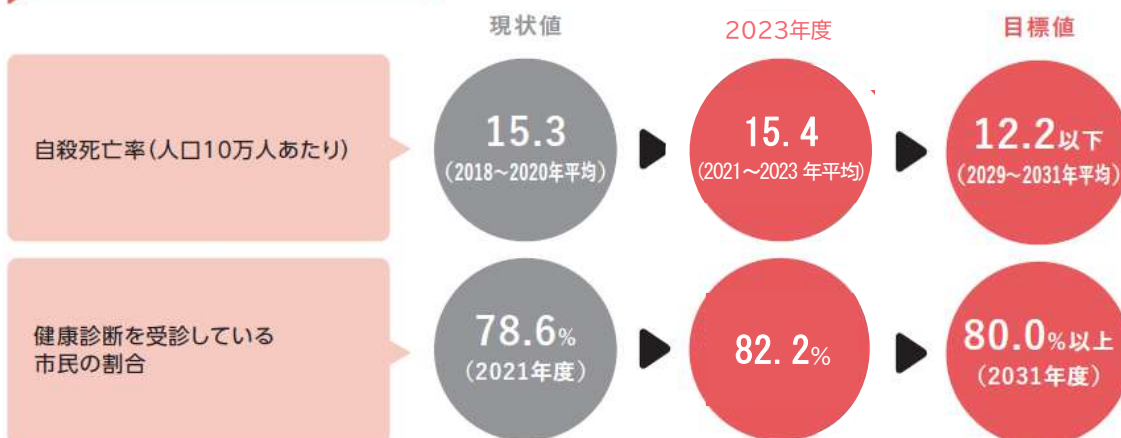
施策 9-3

市民の健康を守る

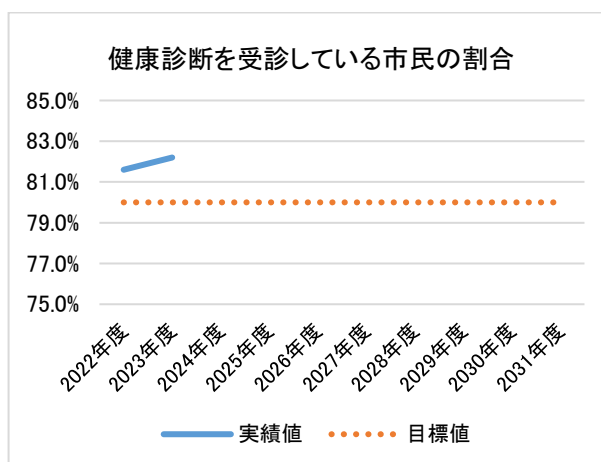
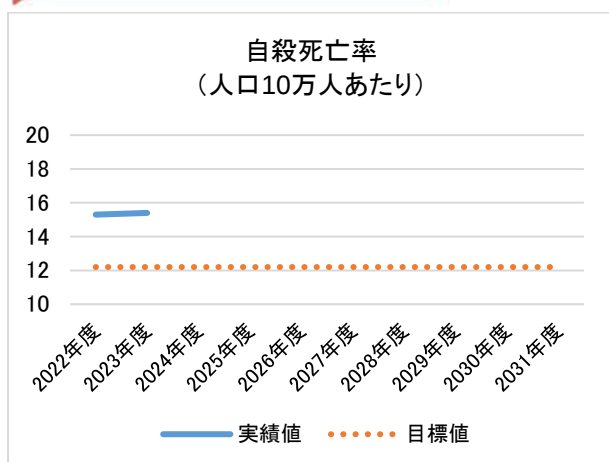
施策実現によってなりたい姿

- 心や体の健康が脅かされる危機が発生したときに、市、市民、関係機関などが相互に理解、協力をして健康を守れるようになっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 心と体の健康推進

経営基本方針

3 経営基本方針の取り組み結果

まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる「経営基本方針」及び、町田市5ヵ年計画22-26の「経営改革プラン」について、それぞれ設定した指標の状況や取り組み結果をまとめました。

(1) 経営基本方針の到達状況

各基本方針に設定した指標の目標値に対する2023年度の状況を示しています。

なお、目標値は、2022年度から2031年度までの10年間をかけて達成することを目指した数値です。

基本方針	現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2023年度)
基本方針1 共創で新たな価値を創造する			
必要な時に必要な情報を入手できていると思う市民の割合	58.9%	70.0%	60.0%
行政手続きの利便性が向上したと感じる市民の割合	49.1%	75.0%	61.5%
多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数(累計)	—	100件	91件
基本方針2 対話を通して市役所能力を高める			
市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合	72.6%	85.0%	80.5%
市役所の対応に満足していると答えた市民の割合	89.7%	90.0%	92.0%
自分の仕事を見直し、改善していると思う職員の割合	77.0%	90.0%	90.6%
職員の職場満足度	76.2%	80.0%	72.3%
基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			
経常収支比率	91.9%	↓	94.3%
実質公債費比率	0.5%	→	0.6%
財政調整基金年度末残高	90億円	90億円	103億円
公共施設の利用者満足度	89.9%	90.0%	70.3%

※上記一覧表の「市民の割合（〇〇している市民の割合）」の指標については、「2023年度町田市市民意識調査」の無回答数を除いた有効回答数を100%として算出しているため、「2023年度町田市市民意識調査報告書」の数値結果と異なる場合があります。

（２）経営改革プランの取り組み結果

各取り組みで設定する、それぞれの指標の 2023 年度目標値に対する実績値（取り組み結果）を示しています。

<「取り組み結果」の考え方>

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の２段階で達成度を表示。

○…目標値を上回った場合（目標値に対して 100% 以上の実績値を達成した場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の 100% 未満の実績値の場合）

*「取り組み結果」の割合は、目標値に対する実績値の割合です。なお、100% を超える場合にも 100% を上限としています。

2023 年度の目標達成率・・・97%

*「2023 年度の目標達成率」は、全取り組みの達成率の平均から算出しています。

*2023 年度時点で取り組み未実施及び、実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「－（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。

*定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「取り組み結果」の割合を 50% としています。

計画を90%以上達成しています。

基本方針1 共創で新たな価値を創造する

改革項目1-1 情報の双方向性を高める						
取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	顧客に合わせた情報発信の拡充	100%	広報活動の市民満足度	－	－	－
			情報発信する場の提供累計回数	○（100%）	12回	26回
2	緊急時における情報発信の強化	100%	新たな情報提供体制の構築・運用開始	○（100%）	運用開始	運用開始
			広報紙の緊急臨時号発行体制の構築	○（100%）	運用開始	運用
3	市民の声を市政に反映する仕組みの拡充	100%	大学と連携した対応記録の分析累計回数	○（100%）	2回	2回
			無作為抽出アンケートの累計調査回数	○（100%）	4回	4回
			デジタルを活用した新たな仕組みの導入	○（100%）	市民の声の活用方策の検討	市民の声の活用方策の検討
			Webアンケートの累計調査回数	○（100%）	24回	45回
	オープンデータの充実	100%	公開データファイル累計件数	○（100%）	837件	1,050件
			ダウンロード件数	○（100%）	2022年度より増	1,098,997件

改革項目1-2 行政サービスのデジタル化を推進する						
取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	マイナンバーカードの普及及び利用促進	95%	マイナンバーカード交付率	△（79%）	100%	79%
			出前申請受付サービスのイベント実施累計回数	○（100%）	49回	178回
			コンビニで発行した証明書の割合(住民票、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書等)	○（100%）	26%	43.6%
			コンビニで発行した証明書の割合(課税・非課税証明書)	○（100%）	19%	33.4%
2	デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	100%	“e-まち”実現プロジェクトの取組累計件数	○（100%）	43件	107件
			オンライン化した手続累計件数	○（100%）	238件	431件
			情報セキュリティ外部監査の実施率	○（100%）	100%	100%

基本方針1 共創で新たな価値を創造する						
改革項目1-3 多様な主体との協力体制を強化する						
取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	共創による地域社会づくりの推進	100%	多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数	○（100%）	60事業	91事業
			地域活動にかかわった関係者の数	○（100%）	1,800人／年	6,217人／年
			共創・協働を意識している職員数	－	－	－
2	外部意見の活用	100%	委員会からの助言・提言の市政への反映累計数	○（100%）	10件	14件
			包括外部監査実施方法の見直し	○（100%）	検証	新たな実施方法の開始
			包括外部監査の措置率(過去5か年の措置率)	○（100%）	90%	99.7%
3	市政モニタリングの実施	100%	市民参加型事業評価の開催	○（100%）	開催準備	開催準備
			市民参加型事業評価の改善プログラム達成率	○（100%）	2022年度開催分70%	2022年度開催分74%
			CFCI新規実施累計事業数（既存事業の改善含む）	○（100%）	4事業	5事業
4	非常時に備えた組織体制の構築	100%	防災対策連絡調整会議の開催累計数	○（100%）	2回	2回
			地域防災計画及び事業継続計画修正	○（100%）	計画の修正・検討	計画の修正・検討
			町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	○（100%）	計画の修正・検討	計画の修正・検討

基本方針2 対話を通して市役所能力を高める						
改革項目2-1 強くしなやかな組織を構築する						
取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	事務事業の見直し	100%	業務改善プロジェクトの実施累計業務数	○（100%）	5業務	14業務
			デジタル技術を活用した改善業務累計数	○（100%）	70業務	309業務
2	職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	99%	職員定数	△（99%）	2,186人	2,200人
			事務決裁規程の見直し	○（100%）	庁内協議、例規の整備	庁内協議、例規の整備
3	非常時に備えた組織体制の構築(再掲)	100%	防災対策連絡調整会議の開催累計数	○（100%）	2回	2回
			地域防災計画及び事業継続計画修正	○（100%）	計画の修正・検討	計画の修正・検討
			町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	○（100%）	計画の修正・検討	計画の修正・検討
4	市税業務改革	100%	税務3課における業務改善の取組事例累計数	○（100%）	2件	5件
			包括外部委託の活用	○（100%）	実施（市民税課） 実施検討（資産税課）	実施（市民税課） 実施検討（資産税課）
5	社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合	100%	民間委託及び事務の統合	○（100%）	一部実施	契約 統合準備
6	学校給食業務の運営体制の最適化	100%	給食調理業務の委託を新たに実施する小学校の累計数	○（100%）	29校	29校
7	学校用務業務の運営体制の最適化	100%	修繕等における用務職が対応する割合	○（100%）	79%	79.5%
8	学校事務業務の運営体制の最適化	100%	学校事務職員における正規・再任用の職員数	○（100%）	20人	19人
9	小中学校における学校経営の支援	100%	学校徴収金の公会計化	○（100%）	実施	実施
			中学校給食費の公会計化	○（100%）	準備	準備
			副校長補佐を配置する学校の累計数	○（100%）	33校	33校
10	市民センター等における最適なサービスの構築	50%	証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止	○（100%）	検討	検討
			民間協働により管理運営する施設累計数	△（0%）	4施設	0施設

基本方針2 対話を通して市役所能力を高める						
改革項目2-2 未来を創る職員を育てる						
取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	職員が能力を発揮できる職場環境づくり	96%	メンタル疾患による30日以上病休者割合 (2020年度26市平均値2.5%)	△ (92%)	26市平均値以下	3.7% (2023年度26市平均値3.4%)
			年次有給休暇の平均取得日数 (2020年度26市平均値13.1日)	○ (100%)	26市平均値以上	17.8日 (2022年度26市平均値14.3日)
			係長職に占める女性職員の割合	△ (92%)	35%	32.3%
			障がいのある職員の採用後1年以内の離職者数	○ (100%)	0人	0人
2	人材の確保と育成の推進	100%	採用試験の見直し	○ (100%)	検証	検証
			「町田市職員人材育成基本方針」に掲げる“めざす職員像”の認知度	○ (100%)	第4期方針について 2021年度調査結果以上	92.1%
			「町田市職員人材育成基本方針(第5期)」の策定	○ (100%)	職員意識調査の実施 及び結果分析	職員意識調査の実施 及び結果分析
			「経営品質向上活動」を意識している職員の割合	○ (100%)	77%	90.4%

基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する						
改革項目3-1 持続可能な財政基盤づくりを推進する						
取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	行政評価シートのさらなる活用	100%	費用対効果が改善した事業の割合	○ (100%)	41%	51.9%
課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みの実施割合	○ (100%)	90%	98.2%			
2	市債発行額と財政調整基金残高の適正管理	100%	実質公債費比率	○ (100%)	1.3%	0.6%
市債年度末現在高	○ (100%)	963億円	869億円			
財政調整基金年度末残高	○ (100%)	80億円	103億円			
3	受益者負担の適正化	100%	基本方針の検証	○ (100%)	検証	検証
受益者負担の見直し	○ (100%)	実施公表	実施公表			
4	国民健康保険事業財政の健全化	96%	赤字額(新型コロナウイルス感染症影響分を除く)	△ (96%)	19.1億円	20億円
5	下水道経営基盤の強化	100%	モニタリング評価分析及び計画の見直し	○ (100%)	モニタリング 評価分析	モニタリング 評価分析
6	病院事業の経営改善の推進	91%	経常収支比率	△ (95%)	99%	94%
5日以上有給休暇取得率 (医師)	△ (87%)	99%	86.5%			
7	市庁舎の適切な維持管理と財源確保	100%	市庁舎の有効活用累計件数	○ (100%)	21件以上	21件
市庁舎のCO2排出量	○ (100%)	1,810t	239t			
使い途を特定した期間限定のふるさと納税の累計実施件数	○ (100%)	10件	13件			
8	新たな資金運用の推進	96%	債券運用による運用益	△ (96%)	45,806千円	43,771千円
9	道路アセットマネジメントの推進	100%	橋梁の維持管理、 ペDESTリアンデッキの維持管理	○ (100%)	予防型の維持管理 の実施	予防型の維持管理 の実施
トンネル・横断歩道橋の維持管理	○ (100%)	予防型の維持管理 の実施	予防型の維持管理 の実施			
街路樹の維持管理	○ (100%)	計画策定 植替え・撤去の実施	植替え・撤去の実施			
街路灯柱等の維持管理	-	-	-			

基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

改革項目3-2 市有財産を利活用する

取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	公共施設再編の推進	92%	短期再編プログラムの取組達成率	△（77%）	66%	51%
			中期再編プログラムの策定	—	—	—
			2つの保健施設の集約	○（100%）	基本計画検討	基本計画検討
			教育センターの複合化	○（100%）	公募準備	公募準備
2	公共施設の管理運営手法の最適化	100%	中期修繕計画の改定	○（100%）	改定	改定
			施設管理運営手法の導入	○（100%）	検討	検討
			三次元化した建物情報モデル(BIM)の作成システムの導入	○（100%）	試験的導入	試験的導入

(3) 経営改革プランの効果額一覧

改革項目名		主 な 内 容	効果額（千円）
1-1-1	顧客に合わせた情報発信の拡充	市民、団体、事業者と連携して情報発信する取組を開始し、広告費を削減しました。	73,257
1-2-1	マイナンバーカードの普及及び利用促進	マイナンバーカードを利用し、各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスの利便性をPRした結果、窓口での証明書の交付に係る人件費を削減しました。	317,053
1-2-2	デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進	行政手続のオンライン化、介護認定業務のデジタル化、学校徴収金管理システムの導入等により、業務を効率化し、職員の人件費等を削減しました。	382,610
2-1-1	事務事業の見直し	事務事業の見直しや RPA などのデジタル技術の活用などにより、職員の人件費を削減しました。	356,721
2-1-2	職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	職員定数の見直しにより、職員の人件費を削減しました。	97,680
2-1-4	市税業務改革	法人市民税と軽自動車税に係る事務処理等の包括外部委託により、職員の人件費を削減しました。	1,531
2-1-6	学校給食業務の運営体制の最適化	小学校における給食調理業務を業務委託することにより、職員の人件費を削減しました。	13,163
3-1-4	国民健康保険事業財政の健全化	赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減しました。	30,000
3-1-5	下水道経営基盤の強化	赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減しました。	11,835
3-1-7	市庁舎の適切な維持管理と財源確保	ふるさと納税やクラウドファンディング、市有財産貸付による有効活用等により、効果的な市歳入の確保及び歳出削減に努めました。	309,659
3-1-8	新たな資金運用の推進	資金管理計画を踏まえた債券運用を行うことにより、利益が生じました。	43,771
3-1-9	道路アセットマネジメントの推進	橋梁、ペDESTリアンデッキ、トンネル等について、長寿命化修繕計画に基づいて、予防保全型の維持管理を行ったことにより、維持管理費を削減しました。	368,600
	合 計		2,005,880

目標の達成状況と 主な成果

共創で新たな価値を 創造する



2023 年度の主な成果

1-1-1 顧客に合わせた情報発信の拡充

- ・ SNS、メール配信サービス等の市の情報ツールの認知度を高めるため、広報紙への記事掲載やチラシの配布、市内開催イベントへの出展などを行いました。各 SNS の登録者数は 2024 年 3 月末時点で計 77,553 人。2023 年 3 月末時点と比較して、LINE (16.3%増)、メール配信 (13%増)、X (旧 Twitter) (3.2%増)、Facebook (2.0%減) となり、計 11.5%増加しました。
- ・ 市民が情報ツールを介してスムーズに情報を得られるよう、「広報まちだ」の LINE でのプッシュ通知やデジタル町内会「いちのいち」での配信を開始しました。また、視覚障がい者、高齢者、外国籍の方にも読みやすい広報紙を届けるため、翻訳機能や読み上げ機能を備えた「MC Catalog + (エムシーカタログプラス) / カタログポケット」を導入しました。

1-2-2 デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進

- ・ 市民の利便性向上と市役所業務の生産性向上に向け、学校徴収金管理システム、町田市防災 WEB ポータル、国民健康保険窓口のオンライン予約システムを導入しました。
- ・ LINE などを活用し、幼稚園や保育園等、学童保育クラブの入会手続など、新たに 156 件の行政手続のオンライン化を実施しました。

1-3-1 共創による地域社会づくりの推進

- ・ 地区の課題解決に取り組む「地区協議会」において、地域を“良くしたい”という思いを持った多様な主体と連携を進め、地域活動の担い手の拡充を図りました。市では、活動に対する補助金の交付や、地域活動室の確保と提供、地域おうえんコーディネーターによるサポートといった支援を行いました。2023 年度は、地区の課題解決のためのプロジェクトが 91 件生まれました。

1-3-3 市政モニタリングの実施

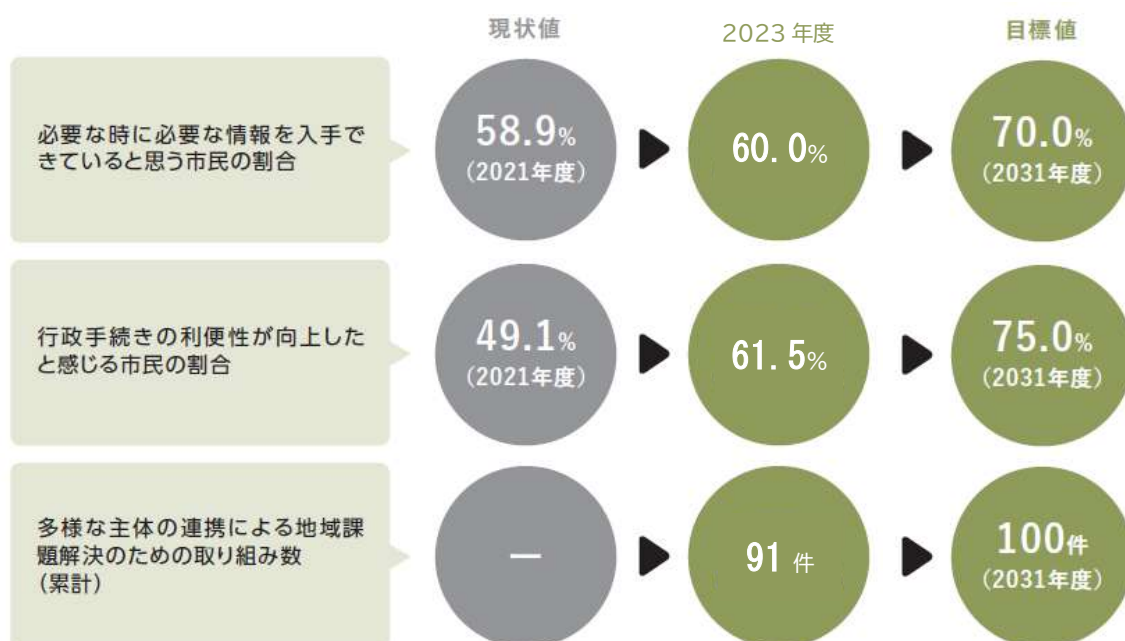
- ・ 「子どもにやさしいまち」の実現のため、CFCI チェックリストの評価に基づく改善として、3 つの取り組みを行いました。その成果の一つとして、子どもたちが自由に意見を述べ合い、子どもの権利について考える「子ども参画ミーティング」の実施を経て、「町田市子どもにやさしいまち条例 (まちだコドマチ条例)」を 2023 年 12 月に制定 (2024 年 5 月 5 日 (子どもの日) に施行) しました。
- ・ 2022 年度に実施した市民参加型事業評価で示された対象 6 事業の改善プログラム全 46 項目の内、33 項目に取り組み、目標値 70%を上回る 74%を改善しました。

基本方針 1 共創で新たな価値を創造する

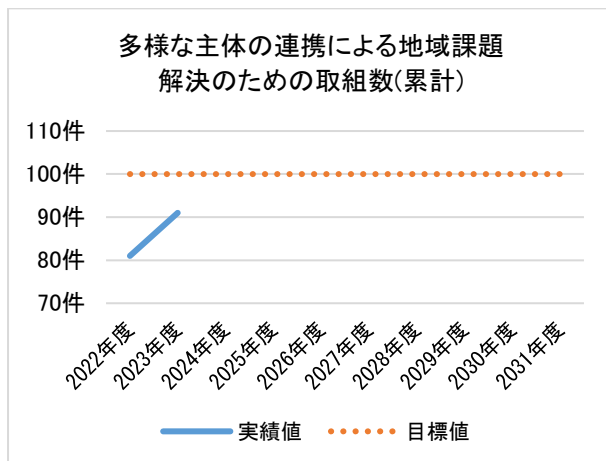
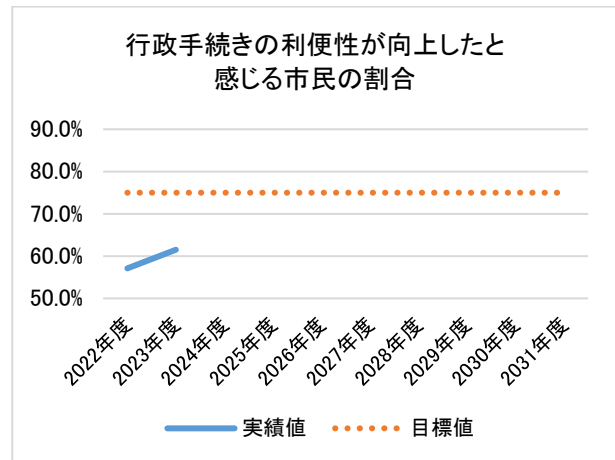
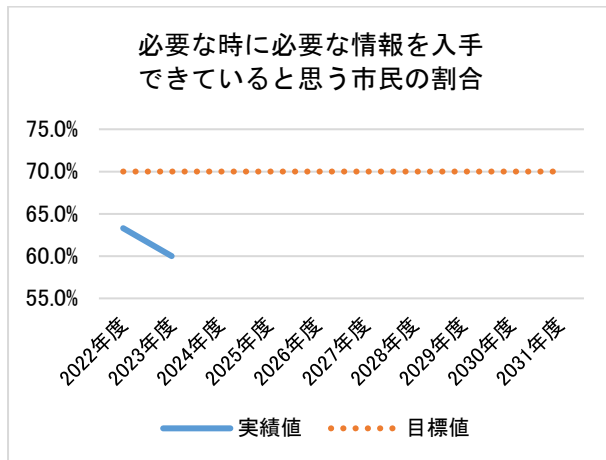
めざす姿

- 市民それぞれの知りたいことが共有され、活用できる環境が整っています。
- テクノロジーを活用し、誰もが時と場所を問わず受けられる最適な行政サービスが提供されています。
- 多様な主体がアイデアを出し、地域の活性化や市の抱える課題解決に取り組んでいます。
- 自治体間の連携を強化することで、市域を越えた行政サービスが提供されています。

めざす姿の実現度を測る指標



指標の経過



基本方針を実現するため取り組み

- 顧客に合わせた情報発信の拡充
- 市民の声を市政に反映する仕組みの拡充
- マイナンバーカードの普及及び利用促進
- 共創による地域社会づくりの推進
- 市政モニタリングの実施
- 緊急時における情報発信の強化
- オープンデータの充実
- デジタルトランスフォーメーション(D X)の推進
- 外部意見の活用
- 非常時に備えた組織体制の構築

2

対話を通して 市役所能力を高める



2023 年度の主な成果

2-1-1 事務事業の見直し

- ・ 業務改善プロジェクトとして、新たに 11 業務の改善に着手しました。この内、電子契約サービスの導入、電子請求書の取扱いの開始など、計 9 業務の改善を完了しました。
- ・ 市役所業務のデジタル化や AI・ロボティクスなどの活用により、職員の手間を省き、生産性の向上を図りました。2023 年度は、職員専用「ChatGPT」の利用開始、セミナーやイベントの参加申込のオンライン化など、デジタル技術を活用した業務改善の取組を、新たに 177 件実施しました。

2-1-4 市税業務改革

- ・ より効率的・効果的な業務執行体制の構築を図るため、2023 年 4 月から法人市民税と軽自動車税に係る事務処理等の包括外部委託（BPO）を実施しました。

2-1-6 学校給食業務の運営体制の最適化

- ・ 学校給食業務に民間活力を導入することを目的に、給食調理員の退職動向に併せて、市内小学校 3 校に業務委託を導入しました。

2-1-9 小中学校における学校経営の支援

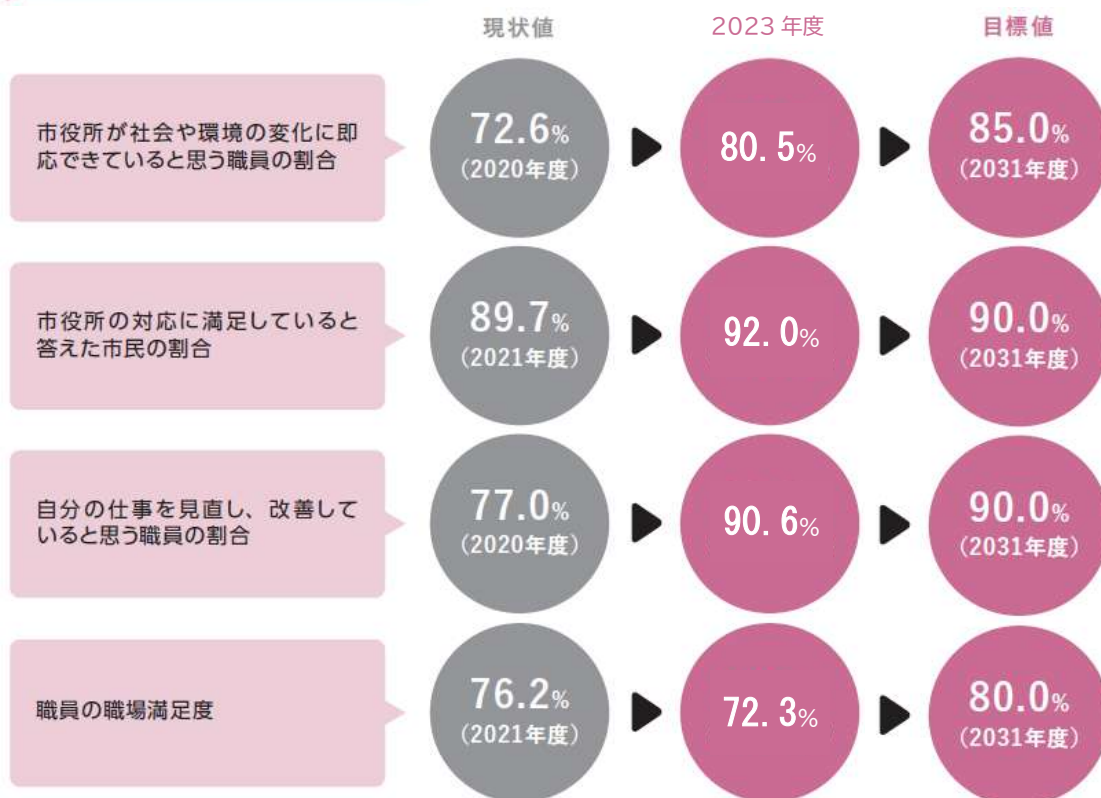
- ・ これまで学校長が徴収していた教材費をはじめとする学校徴収金について、市が保護者から直接徴収する公会計に変更しました。
- ・ 副校長の業務を補助する職員である「副校長補佐」を 33 校に配置し、副校長が学校マネジメント業務に一層取り組める環境を整えました。

基本方針 2 対話を通して 市役所能力を高める

めざす姿

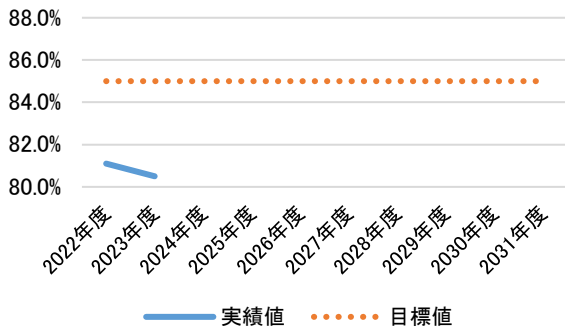
- 社会情勢や行政需要の変化に柔軟に対応できるよう、組織能力の強化に取り組んでいます。
- 市民視点を持って新たなことに挑戦する職員が育成されています。
- すべての職員が、心身ともに充実した気持ちで、やりがいを持って業務に取り組む職場環境が整備されています。

めざす姿の実現度を測る指標

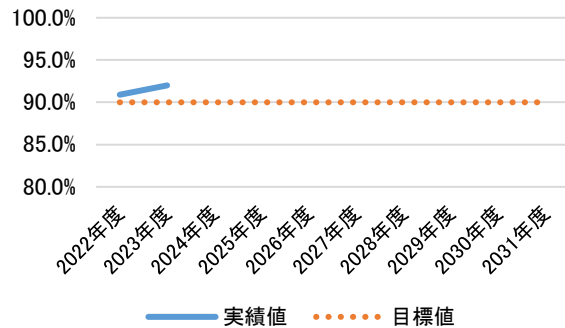


指標の経過

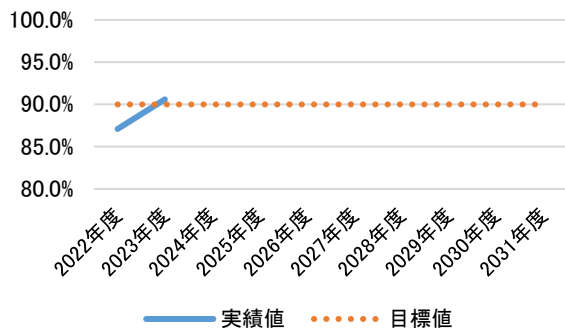
市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合



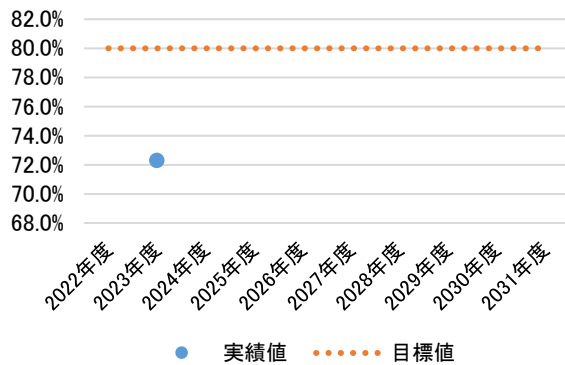
市役所の対応に満足していると答えた市民の割合



自分の仕事を見直し、改善していると思う職員の割合



職員の職場満足度



基本方針を実現するため取り組み

- 事務事業の見直し
- 非常時に備えた組織体制の構築（再掲）
- 社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合
- 学校用務業務の運営体制の最適化
- 小中学校における学校経営の支援
- 職員が能力を発揮できる職場環境づくり
- 職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し
- 市税業務改革
- 学校給食業務の運営体制の最適化
- 学校事務業務の運営体制の最適化
- 市民センター等における最適なサービスの構築
- 人材の確保と育成の推進

次世代につなぐ 財政基盤を確立する



2023 年度の主な成果

3-1-7 市庁舎の適切な維持管理と財源確保

- ・ 市庁舎スペースの貸付や案内モニターへの広告掲載など、市庁舎の有効活用を実施しました。
- ・ ビル・エネルギー管理システム（BEMS）を使って得られたデータを分析し、活用することで最適な空調管理を行い、CO₂排出量を削減しました。また、町田市バイオエネルギーセンターで発電を行っている電力供給事業者と契約した結果、CO₂排出係数が低くなったことで、CO₂排出量が大幅に減少しました。これらの取組により、市庁舎のCO₂排出量は、2020年度に比べ1,480 t減少（86%減）しました。
- ・ ふるさと納税の募集において、町田 GION スタジアムの夜間照明 LED 化事業や経済的に厳しいひとり親家庭にお弁当を届ける「おうちでごはん事業」など、使い途を特定した期間限定の寄附募集を4件実施しました。

3-1-9 道路アセットマネジメントの推進

- ・ 長寿命化計画に基づき、橋梁、ペDESTロリアンデッキ、トンネル、横断歩道橋等の道路施設を計画的に点検・修繕しました。
- ・ 街路樹更新計画に基づき、景観形成などの機能や地域特性を踏まえた優先順位付けにより、計画的に街路樹の植替えや撤去を行いました。

3-2-2 公共施設の管理運営手法の最適化

- ・ 町田市公共施設等総合管理計画、町田市公共施設再編計画等の上位計画や近年の社会的な環境変化に柔軟に対応し、持続可能で実効性のある修繕計画とするため、中期修繕計画を改定しました。

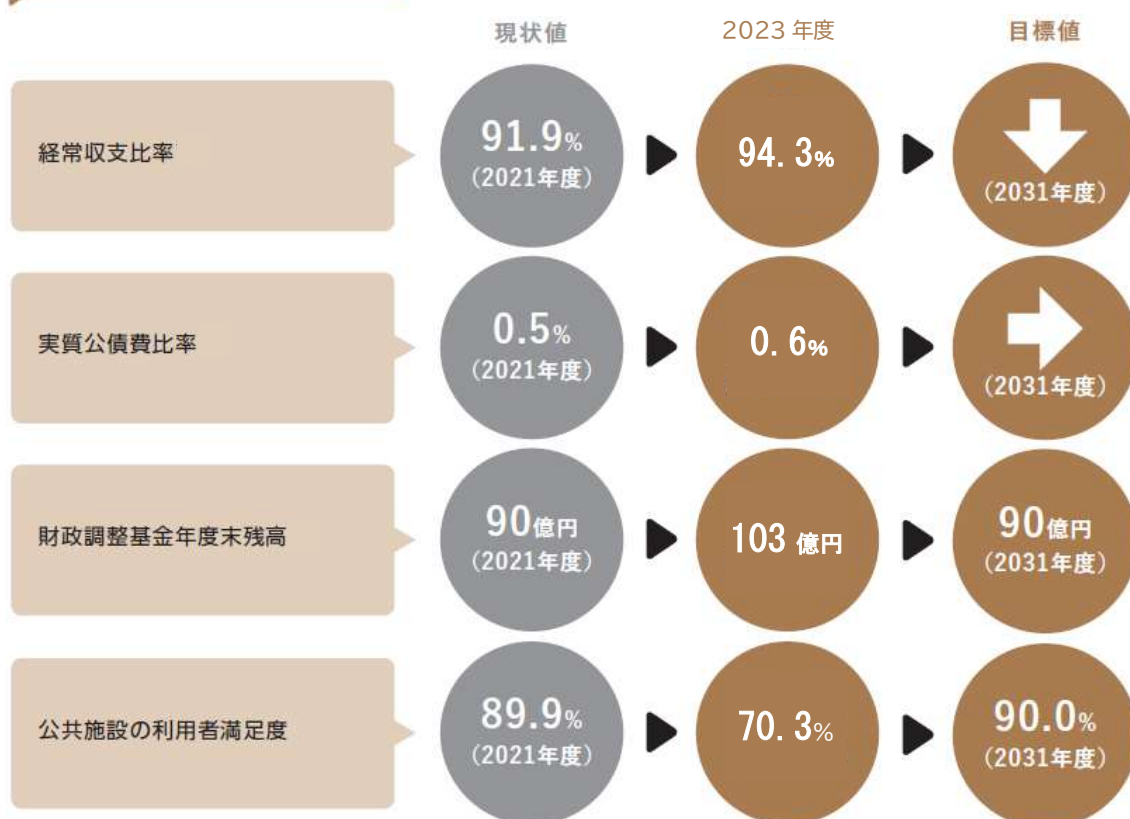
基本方針 3

次世代につなぐ 財政基盤を確立する

めざす姿

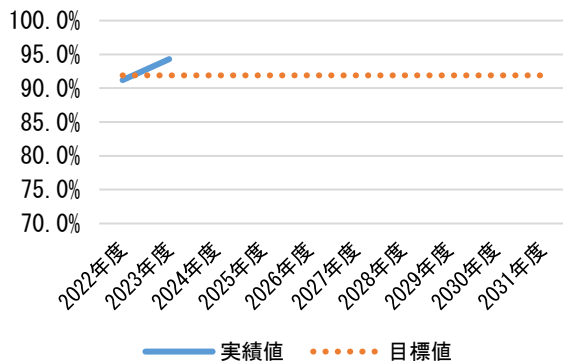
- 財務情報を資産管理や事業評価などに活用することにより、財政運営に関するマネジメント力が強化されています。
- 市の財政負担の軽減を図りながら事業を推進しています。
- 公共施設などを総合的かつ計画的に維持管理・活用しています。また、公共施設の再編を通じて「公共施設・公共空間のより良いかたち」が実現されています。

めざす姿の実現度を測る指標

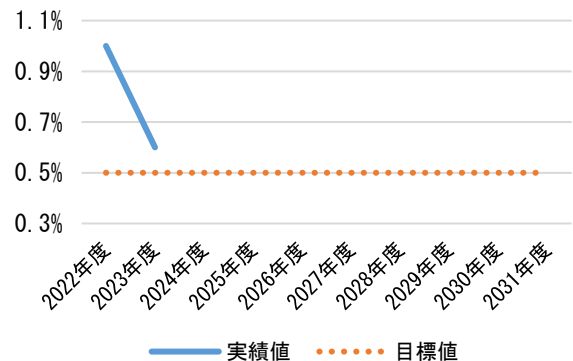


指標の経過

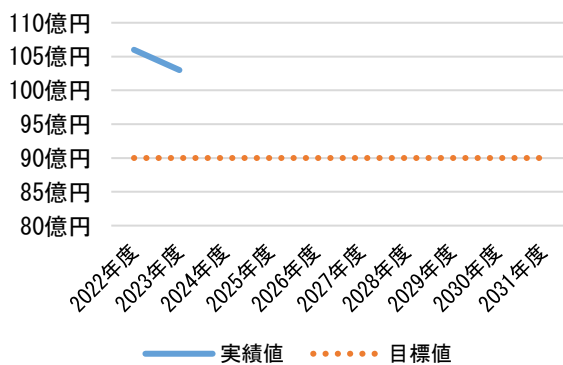
経常収支比率



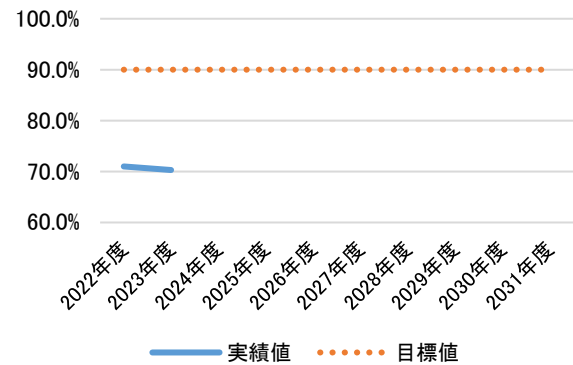
実質公債費比率



財政調整基金年度末残高



公共施設の利用者満足度



基本方針を実現するため取り組み

- 行政評価シートのさらなる活用
- 受益者負担の適正化
- 下水道経営基盤の強化
- 市庁舎の適切な維持管理と財源確保
- 道路アセットマネジメントの推進
- 公共施設の管理運営手法の最適化
- 市債発行額と財政調整基金残高の適正管理
- 国民健康保険事業財政の健全化
- 病院事業の経営改善の推進
- 新たな資金運用の推進
- 公共施設再編の推進

「財政見通し」と決算見込額との 比較分析

4 「財政見通し」と決算見込額との比較分析

(1) 計画額と決算見込額との比較

歳入・歳出ともに、2023年度決算見込額が計画額を上回りました。歳入は、市税など全ての項目で計画額を上回りました。歳出は、義務的経費において、人件費や扶助費などが計画額を上回りました。また、その他の経費のうち、政策的事業費及びシステム経費が計画額を下回りましたが、経常事業費が計画額を上回りました。

歳 入(一般財源)	2023年度(令和5年度)			計画額と決算見込額との 比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	93,451	110,736	17,285	
市税	69,348	71,401	2,053	主に個人市民税や法人市民税の増加により、計画額を上回りました。
譲与税・交付金等	14,037	18,991	4,954	主に地方消費税交付金や地方交付税が想定よりも多かったことにより、計画額を上回りました。
基金繰入金	2,000	5,830	3,830	主に財政調整基金繰入金の増加により、計画額を上回りました。
その他	8,066	14,514	6,448	主に前年度繰越金が見込みを上回ったことにより、計画額を上回りました。

(単位: 百万円)

歳 出(一般財源)	2023年度(令和5年度)			計画額と決算見込額との 比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	93,858	104,315	10,457	
義務的経費	39,335	42,594	1,429	
人件費	19,000	19,872	872	正規職員人件費が計画額を上回りました。
正規職員	15,820	16,789	969	
うち退職手当	334	940	606	
会計年度任用職員	3,180	3,083	△ 97	
扶助費	12,799	14,989	2,190	児童福祉費、小・中学校費などが計画額を上回りました。
公債費	7,536	7,733	197	後年度の公債費負担の平準化及び抑制のため、借入方法を見直した結果、計画額を上回りました。
その他の経費	54,523	61,721	7,198	
繰出金等	17,609	18,416	807	国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、鶴川南土地区画整理事業会計への繰出金等が計画額を上回りました。
事業費	36,914	43,305	6,391	
経常事業費	28,115	35,869	7,754	財政調整基金への積立金や国庫支出金返還金の増加などにより計画額を上回りました。
政策的事業費	5,643	4,665	△ 978	循環型施設整備事業費や準幹線道路新設改良事業費などの減少により計画額を下回りました。
システム経費	3,156	2,771	△ 385	計画額を下回りました。
歳入－歳出 (＝収支差額)	▲ 407	6,421	6,828	

(2) 2023年度(令和5年度)の財政指標

各財政指標は、暫定値です。

	2023年度(令和5年度)			計画数値と決算見込数値との比較分析
	計画数値	決算見込数値	差引	
経常収支比率(%)	91.6	94.3	2.7	分母に算入される臨時財政対策債などが減額となった一方で、分子に算入される物件費や扶助費の増額の影響により、計画数値を2.7ポイント上回りました。
公債費負担比率(%)	8.0	6.9	△ 1.1	分母となる一般財源の増額により計画数値を1.1ポイント下回りました。
実質公債費比率(%)	1.3	0.6	△ 0.7	公営企業(病院、下水道)を含む市全体の实質公債費比率は、適正範囲内です。
財政調整基金 年度末残高(億円)	80	(※) 103	23	年度内の財源調整などの理由により、計画数値を上回りました。

(※) 財政調整基金の年度末残高は、2024年(令和6年)5月31日現在のものです。

- ◆経常収支比率……市税などの経常的な収入(分母)が、人件費や扶助費などの経常的支出(分子)にどの程度充てられているかを表す指標。この数値が高いと、自由に使える金額が少ないことを意味します。
- ◆公債費負担比率……公債費(市債の償還に要する経費)が市の財政に占める割合。この比率が高いと、借金の割合が高いことを意味します。
- ◆実質公債費比率……一般会計だけでなく、市民病院や下水道などの公営企業会計を含んで算出した市全体の公債費比率のこと。この数値が25%以上になると、「財政健全化計画」の策定が義務付けられます。
- ◆財政調整基金……大幅な増収増収や決算剰余金が生じた場合に積み立て、財源不足が生じた場合取り崩すことにより、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図ることを目的とした基金(積立金)です。

